

# SCOUTING

スカウティング

No.495  
1994

8

特集

ボーイスカウトのプログラム

～振り返るプログラム立案の基本～

1994

11TH NIPPON  
JAMBOREE

久住高原



財団法人

ボーイスカウト日本連盟



蒼き草原より 未来へ  
地球にやさしいジャンボリーをめざそう  
平成6年8月3日水～7日日  
大分県久住高原

# 11NJ記念 ウォッチ



## 新登場



■ジャンボリーウォッチ

品番 75992 ￥4,800

### おしゃれなボーイスカウトネクタイ

① 礼装用ネクタイ

品番 37100 ￥4,800

絹100%。紺地にストライプと8の字結びをアレンジ

NEW

② 正装用ネクタイ

品番 37141 ￥1,800

ローバースカウト・指導者の正装用ネクタイ。制服に着用他、ビジネスユースにも。ポリエステル100%。

③ WSタイ

品番 76697 ￥2,500

世界事務局製。紺色地に黄と紫のストライプと世界スカウト章のワンポイント。

NEW

④ 紺ストライプタイ

品番 37143 ￥1,800

紫ストライプに山吹色のスカウト略章。ポリエステル100%。

①

②

③

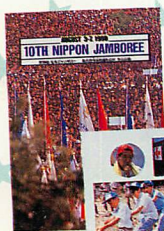
④

## 11NJ記念アルバム予約を開始いたしました

ジャンボリーの記念、貴重な資料として、ぜひ、お求めください。

完成予定 '94年10月下旬

品番 37100 ￥1,800

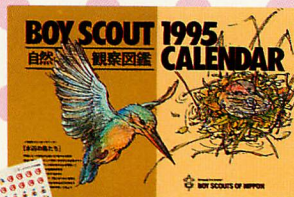


※写真は10NJ記念アルバム

## 1995.ボーイスカウトカレンダー

今回のテーマは「水辺の鳥たち」

8月1日より予約受付をいたします。



B4版カラー

品番 68495

1部 ￥600

発売予定 '94年11月中旬

誌上ショッピングご利用にあたってのお願い

●ご注文は本誌とじ込みの払込通知票をご利用ください。お電話によるご注文はお受けできませんのでご了承ください。  
●登録番号(10桁)および名前のフリガナを必ずご記入ください。●荷造り送料は別途実費を請求させていただきます。

★需品の表示価格には消費税は含まれておりません。外税として別途申し受けますので、ご注文の際は加算してご送金ください。

8 1994  
AUGUST



### 特集

## ボーイスカウトのプログラム —振り返るプログラム立案の基本—

		4
連載	11NJ情報 <sup>17</sup>	12
活動	カヌー 自分のカヌーは自分で漕げ	16
技能	アクションソング DE GO! GO! GO!	20
活動	DO スカウティング	22
情報	自然観察 足もとから始まる環境教育	24
連載	人物逸話事典 <sup>145</sup> 河内山宗春 太田信行/伊藤展安	26
連載	スカウトの日	28
紹介	ボーイスカウト運動のために ～維持会員加入のご案内～	29
連載	ローバー通信「誌上ローバームート⑦」	30
紹介	組織倍増顕彰	32
情報	NEWS BSN 日連情報	34
情報	資料センター 新着図書	39
情報	知らせてくださいあなたのスカウティング	40
情報	トピックス	41
連載	隊指導者のための「スカウトの信仰への導き」	41
SHOPPING	誌上ショッピング	2
NEWS	需品部ニュース	43

# ボーイスカウトのプログラム

## —振り返るプログラム立案の基本—

スカウト活動において、プログラムはたいへん重要な役割を担っています。興味や楽しさもさることながら、スカウティングで得る成果の大小も、プログラムに集約されているといっても過言ではありません。この特集では、よいプログラム作りを、スカウトの理念と基礎に立ち返って解説しています。日頃の活動でふと、迷ったときマンネリを感じたとき、これを読み、スカウトならではのプログラム作成を考えていただければと思います。また、新しい団委員の方や、インストラクターの方々、そして一般のみなさんにも、ボーイスカウトの活動に対する考え方をご理解いただければと考えています。



### プログラムも、ボーイスカウト

#### 精神から始まる

みなさんは、スカウト活動の特徴は、どんなところにあると思われませんか？ 答えとして、「団や隊、班などの組織がある」「スカウトを人間の成長させるための進歩制度がある」などをあげられる方は多いでしょう。

確かに、このふたつはスカウティングの最大の特徴となっています。しかしほかにも、「世界的な組織である」「キャンプなど野外活動に力を入れている」「異なった年齢の子どもたちがいっしょに遊ぶ数少ない機会」といったことまで含めれば、実にさまざまな側面が浮かんでくるはずです。

ボーイスカウトは、あたかも野球のルールのように多くの要素が機能し合って、ひとつのシステムを作りあげています。それは、一見複雑に見えますが、すべて創始者であるベン・デン・パウエルが提唱したボーイスカウト精神が基礎となっているのです。もちろん、このページで取りあげるプログラムも例外ではありません。そこで回り道になりますが、本

題に入る前に、スカウティングの基本的な考え方に少しだけ触れておきたいと思います。

スカウティングとは、よい社会人として持つべき資質——りっぱな品性、強健な体、さまざまな技能、他の人々への奉仕の気持ち——を養い、幸福な人生をおくれる人になるように、少年と青年たちを育てあげることが目的としています。この目的にさらにB・Pの教育理念を加えたものは、リーダーからローバーにいたる年齢の精神的、身体的、社会的特徴を考慮した上で、各部門の「活動の目標」としてまとめられています。

一例をあげれば、カブスカウトの「活動の目標」は次のようなものです。

① 神（仏）をうやまい、自分への責任を認識させる

② 自然に親しみ、愛護する心を育てる

③ 小グループの中で、相互に影響し合う機会を提供する

④ 所属意識を伸ばし、目的を達成したときの充実感を感じさせる

⑤ 自ら考えを判断し、決断する力を養う

⑥ 健康と安全について認識させる

# 楽しみながら、人間性を育むプログラムづくり

日本連盟プログラム委員長 犬飼康元

スカウティングでは、プログラムという言葉が、多くの意味を持っています。

中でもボーイスカウト運動の主軸となるのは、進歩のプログラムで、私たちはこれをたいへん重要なものだと考えています。進級プログラムは、ボーイスカウトの基本精神にのっとり、各部門のスカウトが進歩していくのにふさわしい内容で進級の必修課題や選択課題に盛り込んだものです。そして自分のやりたいことを指導者の援助を受け、また資源を利用して実現することで、個性をのびし、人間的な向上を計ることが目的です。スカウト活動は、自発活動が基本です。自身でプログラムを組み、それを実現していくことを、ぜひ、生活習慣として身につけていただければと思います。

活動目標は部門によって少しずつ異なります。その目標を達成するには、個人の努力が第一ですが、進歩のための必修課題や選択課題を日常の活動プログラムの中に取り入れていただくとよいでしょう。



う。もちろん、これ以外にもプログラム  
のアイデアはたくさんあると思います  
し、プログラムのヒント集やゲーム集を  
活用し、積極的に研究していくことで、  
スカウト活動はより楽しく多彩なものに  
なるはずですよ。その際にも、ボーイスカ  
ウトの基本精神を忘れずに。活動を通じ  
て、ちかいやおきてを身につけ、人のお  
世話ができ、感謝の心を持った暖かい人  
間性を育てていただきたいと思います。

⑦ 好奇心と冒険心を満足させる

⑧ からだの動きを高め、創造力を伸ばす

⑨ フェアプレイの精神と正義感を養う  
⑩ 愛と感謝の心を育てる

すべてのカブスカウト活動の成果は、ここに集約されます。同じように、ほかの部門の行事もすべて、活動の目的“が基になっているといつてよいでしょう。少年たちは活動を通じて、スカウト精神を教育されるのではなく、自発的に身につけていくものなのです。プログラム作成も、これらのことを念頭においてスタートします。

## プログラムの縦軸を形成する

### 個人のプログラム

さて、いよいよ本題に入りますが、スカウト活動では、プログラムという言葉に、たいへん広い意味が含まれています。一年間を通じて、どんな活動をするかを決める年間プログラムや一日のスケジュールを記した隊集会のプログラムもその一部ですが、それらより優先して考えなくてはならないのが、個々のスカウトが

成長するためのプログラムです。

毎日の生活の中でも、何かを成し遂げようとするときはたいへん、いつまでにこれを終わるといふ期日を設定するほうがうまくいくものです。目標を設定することで、それが確実になり、技術や能力が高まるというだけではありません。自分で決めたことを達成した際の満足感が、自信につながり、精神的にも成長していくきっかけとなるからです。

スカウティングでは、進歩制度のために制定された課目がその目標にあたります。

ビーバーからローバーまで各年齢に合わせて作られた課目は、それにチャレンジする過程で、自然にボーイスカウト精神が身につくように考えられています。進級は、課目をひとつづつクリアしていくことでかなえられますが、このしくみは、年齢に応じて多少異なります。たとえばカブスカウトが、小学校二年生の九月からうさぎの課程、三年生九月からしかの課程と進級の速さが一律に決まっているのに対して、ボーイスカウトでは入隊から初級スカウト、二

## スカウトと野外活動

ベーデン・パウエル卿は晩年、世界中のスカウトや指導者たちに、最後のメッセージを残していますが、その中にこんな一説があります。

「自然研究をすると、神がこの世界を美しいもの、すばらしいものに満ち満ちた、美しいところにお創りになったことがよくわかる。今与えられているところに満



足して、最善をつくし、ものごとに希望を持って、悲観的にならないようにしたまえ」

ボーイスカウト運動では、自然の中で群れをつくって遊ぶことが、スカウトたちにたいへんよい影響を与え、人間性の向上につながると思っています。日常の活動でも、積極的に野外へ出かけ、自然から学ぶ機会をつくりたいものです。野外活動には、次のようなテーマが考えられます。

自然観察／採集とコレクション／スケッチ／巣づくり（自然の材料で、自分たちのお城をつくる）／史跡見学／先発者の後を追って進む、宝さがし、技能を途中の「関所」で示し、速さを競うなどのゲーム／地図とコンパスによって、目的地まで進む／星座の観察／親子または家族といっしょのハイキング／カメラでの撮影会／悪条件や救急の場合を想定した訓練／洞窟などの探検／野外クッキング  
いずれの場合も自然愛護の精神を忘れずに、マナーをきちんと教えたいものですね。

級、一級、菊スカウトへと、それぞれが自分のペースで進級していきます。

ボーイスカウトの進級にいつまでという決まりがないのは、これより上の段階に対して、自発性が求められているためです。従ってスカウトたちは、いつ初級スカウトに進級し、いつ頃菊スカウトになるかといった個人の長期プログラムを自分の手によって作成することになります。個人のプログラムは、厳密に守らなくてはいけないというようなものはありませんが、目標を設定することで、スカウト活動はより充実したものになるはずで、長いレンジで自分の将来を見通して、楽しみながら向上していく。その点が、一般で行われている活動とは大きく異なる点です。

個人の長期プログラムは、隊や班、組の活動プログラムと密接に関わり合いながら進行していきます。すなわち、個人と全体というふたつの視点からプログラムを考えることで、初めて個々のスカウト活動が生きてくるのです。

### 活動プログラムのガイドラインを作る年間プログラム

スカウティングの活動プログラムは、ビーバーやカブでは隊長とプログラム委員によって決定されますが、ボーイ以上の段階では、基本的にスカウト自身の手により班長会議で立案されます。隊長はこの間進行状況に目を配り、適度な助言を与えることが必要です。特に個々のスカウトが意欲的になれるような内容になっているか、詰め込みすぎて無理やり消化するような事態になっていないか、一歩離れた視点から、冷静に判断することが望まれます。

一連のプログラムの中で、最も先に作成されるのは、隊の年間プログラムです。この時点で、各月ごとのテーマや大まかな内容、進級課題との対応まで決定するのですから、日常の活動のエッセンスが、年間プログラムに凝縮されているといっても過言ではありません。それだけに、ボーイ以上の部門では、スカウト全員が十分にアイデアを出し合い、推敲を重ねて決定したいところです。

月	テーマ	活動の概要	生活目標	年間行事・隊活動	プログラム委員	修得課目			選択課目
						うさぎ	しか	くま	
9	町の探検隊	新しい仲間とともに、1年間の目標をたて、さらに僕らの町の探検に出かける	幼い者をいたわる	入隊式、町の探検ハイイク、育成会総会		1 (笑劇) (2)、 5 (ぼくらの家) (1) (2)、 5 (ぼくらの町) (1)	1 (感謝) (2)、 5 (日本の国旗) (1) (2)、 5 (ぼくらの町) (1)	1 (スマート) (2) (3)、 5 (国語) (1) (2)、 5 (ぼくらの町) (1)	2市民 5案内
10	僕は名選手	秋のスポーツシーズンを迎え、戸外での運動やスポーツ大会を開く	スポーツマンシップ	スポーツ大会		2 (運動) (1)、 2 (清潔) (1)	2 (スポーツ) (1)、 2 (健康) (1) (2)	2 (スポーツ) (2) (1)、 2 (成長と救助) (1) (2)	25運動選手 26チームスポーツ選手
11	秋の野山	美しい秋の野山へ出かけ、保護者の方々への感謝をこめ、野外炊事をし、昼食会を開く	観察力を養う	追跡ハイキングと野外炊事	高野西田	4 (観察) (1)、 4 (食事) (1) (2)、 4 (野外活動) (1)	3 (観察と時間) (1) (2)、4 (自然観察) (1)、4 (伊弉) (1) (2)、4 (野外活動) (1)	3 (通信) (1) (2)、 4 (自然と生活) (1)、 4 (野外炊事) (1) (2)	6自然保護、7手伝い 9自然観察官 10ハイカー
12	夢の国をたずねて	日本や世界の国々の歌や民謡をもとに、スタンツ、劇、パントマイム等工夫して発表する	表現力をのびます	発表会 年末助け合い運動		3 (お話) (1)、 5 (ぼくの仕事) (1)	3 (観劇) (1)、 5 (役に立つ) (1)	3 (民謡と劇本) (1) (2)、 5 (奉仕) (1)	31音楽家 36演劇家 37読書家
1	日本のお正月	新しい年を迎え、お正月にふさわしい日本の子供達の楽しい遊びを集めゲーム大会を開く	感謝の心を養う	日本の子供の遊び大会		1 (笑劇) (1)	1 (感謝) (1) (3)	1 (スマート) (1)	27スキー選手 28アイススケート選手
2	カブスカウトショー	2月22日は世界友情の日(B-Pの誕生日)です。日本や世界のボーイスカウト活動の展示会、カブ祭を計画し、地域社会へPR	創造力をのびます	B-P祭 展示会	中村	3 (なわ結び) (1)、 2 (世界の国々) (2)	3 (なわ結び) (1)、 2 (世界の国々) (2)	3 (なわ結び) (1) (2)、 2 (世界の国々)	1国際
3	自転車ロード大会	自転車の安全点検を伴う、安全運転と交通ルールを守りながら、自転車運転技能大会	交通ルールを守る	自転車運転技能大会		2 (安全) (2)			16自転車博士 20乗り物博士
4	C-1グランプリ(ぼくは発明家)	18日は発明の日です。カブスカウト諸君も、創意工夫して楽しいものを作りましょう	創意工夫	C-1グランプリ大会、地区合同大会	榎四宮	3 (工作) (1)	3 (工作) (1)	3 (工作) (1)	17工作博士 21技術博士 15コンピュータ博士
5	剣豪伝	風薫る5月5日は「子供の日」、男の子の日です。野外に踊り出て、野山を思いまきりかけめぐり男らしい生き生きとした活動をする。	自然愛護の心を養う	戸外集会(御前試合)、スカウト週間		3 (計測) (1)		4 (野外活動) (1) (2)	2市民
6	レスキュー隊員出動せよ	「ケガ」「病気」「災害」はいつ起こるか分かりません。カブの友達や自分の小さなケガぐらいは手当てできるレスキュー隊員になろう	健康と安全	社会見学 救急法研究会 カブのキャンプ	田辺	2 (清潔) (1)	2 (事故の予防) (1)、 2 (健康) (1)	2 (事故への対応) (1)、 2 (成長と救助) (1) (2)	22救急博士
7	海底2万マイル	日増しに暑くなる7月は水の季節到来です。あの勇敢なネモ船長とノーチラス号に乗って海底2万マイルの冒険の旅に出て、海の宝を探そう	決断力を養う	発表会 水泳訓練					24水泳選手
8	ロビンソン・クルソーの冒険	夏の太陽をいっぱいあびて、大自然の中で冒険を展開し、創意工夫、協調性を学びとらせよう	冒険心、協調性を養う	カブのキャンプ 野外炊事、小屋作り 上進式					11キャンパー
備考									

プログラムのアイデアは、日本連盟発行のプログラムヒント集や、スカウティング誌で紹介される他県の活動報告なども参考になります。また、実際のスカウト活動の際にひらめくこともあるでしょうし、新聞や雑誌、テレビの情報に思いがけないアイデアが隠されている場合もあります。日頃から情報収集を心がけ、プログラム会議に備えます。

ただし新しいアイデアをプログラム化する際には、「活動の目的」に沿ったものであるかの判断が必要です。また、せっかくのプランも実現できなければ何にもなりません。経済的、時間的側面にまで気を配り、隊や班の実情に合わせてアイデアを練り直す柔軟さも大切です。

**プログラム立案の際には、こんなところに注意**

ボーイスカウトの新年度は九月からですので、年間プログラムは、遅くとも八月の中旬か下旬までには作成されていなければなりません。これを下敷きに隊や班、組の月間プログラムが組まれることを考えれば、

早いにこしたことはないでしょう。実際に年間プログラムを立案する際の注意点として、次の六点があげられます。

(1) 一年間は、大きな流れの一部  
ボーイスカウト運動は、ピーパーからローパーまで続く、一貫したプログラムに基づいて教育することが基本方針です。これから始まる一年間だけが特別のものにならないように、年間プログラムも一連の流れの中で考えます。スカウトたちの成長に応じて、変化のある、新鮮なプログラム作りを心がけたいものです。

(2) 毎月の訓練目標をたてる  
プログラムは、すべてのスカウトが意欲的になれるような内容が理想的です。それには、楽しむことも大切ですが、地域社会への奉仕や自然愛護などスカウト精神を忘れず、いたいものです。年間プログラムには、

各月ごとにスカウティング精神の四つの柱、基本(人格)、健康、技能、奉仕(社会生活)にふさわしいテーマと訓練目標を設定します。これが、毎月のプログラムをたてる際の指針となります。

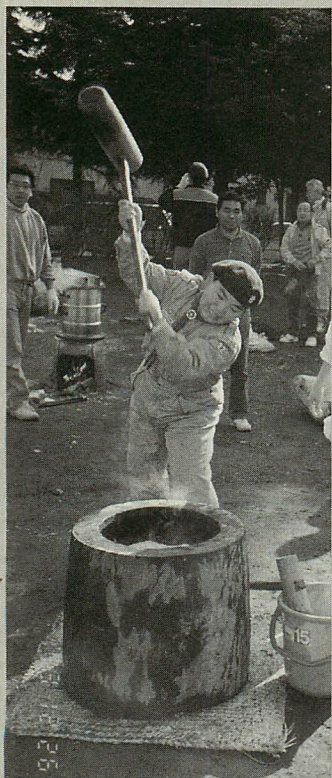
## みんなで楽しむゲーム

スカウト活動に、ゲームの要素は欠かせないものです。プログラムに取り入れられるゲームは、主に次の三つにわけられます。

1 スカウトの技能を練習するためのゲーム。または、覚えた技能を使って、その実力を競うゲーム。

2 ハイキングやキャンプのときに行うレクリエーションのためのゲーム。スポーツなどの要素を取り入れてもよいでしょう。

3 ワイドゲームまたはフィールドゲーム。広い地域にわたり行うもので、時間も一時間から四、五時間と長時間におよ



びます。種類には、宝さがし（いくつ

かのチームが、ひとつの宝物を争って獲得し、相手を撃退しながら安全な場所へ運ぶ）、捕獲（ふたつのチームにわ

かれ、それぞれが宝物をA地点からB

地点に移す。その間に、相手チームの宝物を奪う）、陣取り（ふたつのチーム

が、互いに相手の陣地を攻めながら、自分の陣地を守る）の三つがあります。

用具や動作、隊形など変えることで、まったく違うゲームにつくりかえることもできます。ひとつのゲームを覚えたら、

発想を変えて、応用のゲームもつくってみましょう。

### (3) 山場は、夏の長期キャンプ

スカウト活動の華は、ハイキングやキャンプ、自然観察などができる野外プログラムです。とりわけ夏休みを利用しての長期キャンプは、年間プログラムの山場といえます。ボーイスカウトなら、五月は野外料理、六月は個人携帯品、七月は一泊二日の短期キャンプというように訓練目標を組んでいけば、八月の長期キャンプに向けての準備になり、ムードも盛り上がります。

#### (4) 進歩のための技能訓練を盛り込む

各部門の必修課目とそれをさらに発展させた選択課目は、大半が充実した野外活動を行うために必要な技能です。それらの多くは、一人で練習することのできるものですが、中には二人以上で協力して実習するものや、班活動を通じて履修するものもあります。特にボーイスカウト以上の場合、各スカウトに進級計画を提出させるなどして、プログラム作成にかかる前に、全員の状況把握するようにしておきたいものです。また、カブの場合は、各スカウトの習得ペースがほぼ一定なので、前半

六か月で必修課目を習得し、後半六か月でその応用のチャレンジ賞に挑戦するプログラムを組んでもよいと思います。

#### (5) 季節や行事にちなんだプランニングを

季節やさまざまな記念日を考えることも、プラン作りのヒントになります。また、地区や県連、日本連盟の行事、公共行事、地域のイベントなどへの積極的な参加が望まれています。

#### (6) 入隊や移動に対する配慮をする

九月には、スカウトに入隊する人、さらに上の部門に進む人などの移動があります。新たなメンバーも加わったところで、班意識を高めるような工夫をしていきます。

### 年間プログラムを具体化する

#### 月間プログラム

年間プログラムで決定したテーマと訓練目標に従って、具体的な活動プランを作り上げるのが、月間プログラムです。ボーイスカウト以上では、これも班長会議でスカウト自身によって計画されますが、カブやビ



## 第20回日米フレンドシップパトローリー 日程表

	時刻	行事	内容
3月26日 (土)	06:30	起床	Reveille
	06:30～07:30	朝食・キャンプサイト清掃	Breakfast and Clean-up in Campsites.
	07:50	ギルウェルフィールドに集合	Assembly on Gilwell Field. スカウト正装でギルウェルフィールドに集合。
	08:00～08:15	開会式	Opening Ceremony - Gilwell Field
	08:15～08:30	(巣箱コンテスト)	(Bird House Presentation) 持参した巣箱のコンテストを行う。
	08:30～09:00	第20回記念活動(1)	Special Activities for 20th Aniversary (1) ギルウェルフィールドで第20回目の大会を記念したデモンストレーション
	09:00～12:00	チャレンジトレイル(1)	Challenge Trail (1) 班対抗競技を行う
	12:00	昼食(支給)	Lunch, served at B-P Lodge. B-Pロッジで給食を受ける。
	12:15～15:00	第20回記念活動(2)	Special Activities for 20th Aniversary (2)
	15:00～17:00	チャレンジトレイル(2) (キャンプサイト点検)	Challenge Trail (2) (Campsite Inspection by commissioners)
	17:15	チャレンジトレイル終了式	Retreat ギルウェルフィールドに集合する。
	17:15～19:00	交換夕食会	Exchange Dinner (BSA to visit BSN) 日本スカウトがアメリカスカウトを招待する(18:00～19:00 Staff Dinner)
	19:30～20:30	大キャンプファイア	Grand Campfire キャンプファイア場に早めに集合する。 キャンプファイア場では懐中電灯をつけないこと。
21:00～22:00	指導者会議と懇談	Leader's meeting & crackerbarrels at B-P Lodge. B-Pロッジで本部スタッフ及び参加隊長打合せ及び懇談。	
23:00	消灯	Taps (Lights out)	
3月27日 (日)	06:30	起床	Reveille
	06:30～07:30	朝食・キャンプサイト清掃	Breakfast and Clean-up in Campsites.
	08:00～09:30	自然愛護活動	Conservation Project ギルウェルフィールドに集合した後、各班は指定された場所で活動を行う。
	10:00～11:00	宗教儀礼	Religious Services カトリック・新教・仏教・神道の宗教別に行われる。 Catholic, Protestant, Buddhist, and Dhintoist
	11:15～11:30	表彰式・閉会式	Closing ceremony and Awards on Gilwell Field. Troops in uniform with patrol and troop flags. ギルウェルフィールドにスカウト正装で集合する。 班対抗競技等の表彰式と閉会式を行う。
	11:30	撤営・点検・退場 退場完了	Break Camp & Check out. 完了次第、撤営点検を受けて退場する。退場時に参加証が渡される。 14時までまでに正門を退場する。

ーバーでは、保護者や有志の中から選ばれたプログラム委員の手にゆだねられます。

月間プログラムの立案ポイントは、年間プログラムのそれに準じますが、ほかに隊としての連帯感や班の自主性を重んじることが大切です。隊集会と班集会の割合は、一般に、月一～二回の隊活動、三～四回の班活動がベストなバランスといわれています。

隊集会では、その月の班集会での練習や準備の成果を披露するようなプログラムを組むと効果的です。隊集会がスポーツ大会なら、班集会はスポーツのルールと技術の習得、隊集会が劇の発表なら、班集会はその練習と衣装制作にあてるなどの例があげられます。

### 一日を有効に使うための 月間プログラム

隊集会は、各班のメンバーが一堂に会して、日頃の班集会ではできない大がかりなプランや班対抗のゲーム、技能訓練を行うよい機会です。班の間にライバル意識が芽生えることで、結束が強まりますし、リーダー

ーシップを発揮する場面では、かなりのがんばりを見せるスカウトも現れることでしょう。

よい隊集会にするには、現場での時間の管理を上手に行うことが必要です。プログラムが早く終わらないうちに、簡単なゲームなどすぐできる予備のプログラムを用意しておくことも必要です。また、少年期のスカウトに長時間同じことをやらせるのは、飽きさせる原因となります。ひとつの作業は、最大二〇分を目安に考え、静から動へと変化のあるプログラムを心がけたいものです。

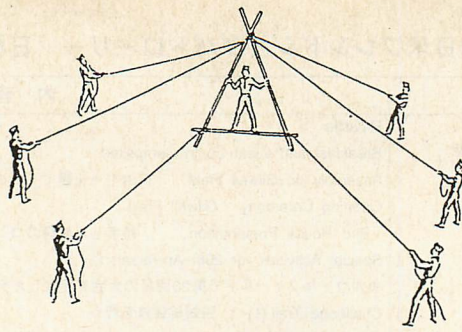
次に、集会の具体的な展開例として、今年三月に行われたパトローリーのプログラムを分析してみたいと思います。

### 日米フレンドシップパトローリー 大会のプログラム分析

日本とアメリカのスカウト、総勢六〇〇人が参加した日米フレンドシップパトローリーは、東京都稲城市にある米軍施設内のキャンプ場、キャンプ・タマで開催されました。山

## 惑星火山に挑戦!

- ・ある惑星の火山中心地帯では、地面が非常に高温で触れることができず、こわれやすい物は溶けてしまう。そこで、班の1人がそのこわれやすい物を取り戻し、誰もがその火山地帯の地面に触れずに戻れるよう計画を立て、実行する。
- ・班には3、6メートルの縛材が2本、2、5メートルの縛材が1本、縛材を縛るためのロープが3本、1、5メートルのロープが4本、6メートルのロープが2本支給される。

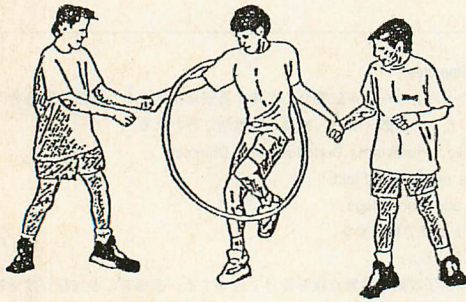


## 大きな輪を通そう!

- ・3メートルのポスト(ポール)を使い、古いタイヤをドーナツの輪として使う。
- ・ゲームの想定として、ポストは電気を帯びており、それに触れた誰もがすぐに感電してしまう。
- ・幸運なことにゴムのタイヤは絶縁体であり、簡単に地面から持ち上げることができる。
- ・保護手段として、いつも少なくともポストから約90センチは離れていることだ。
- ・失敗したものは再び行う必要がある。
- ・班はポールの上や下からただ単にタイヤを投げたとしても、ポールの十字のところは邪魔になる。(イラストを参考に)

# チャレンジ・トレイル

日米フレンドシップパトローリー大会で行われたチャレンジ・トレイル。その中のゲームをいくつか紹介しましょう。



## フラフープ縄渡し

- ・班員は手をつなぎ、長い列か大きな輪になる。そしてフラフープをできるだけ早く次の人に渡していく。
- ・手はつないだままで、身体の動きだけでイラストのようにフラフープを渡していく。
- ・班員が一緒に動いていくことで、かかる時間がいかに変わるかを見る。

※日米フレンドシップパトローリー(日米友好班大会)日米スカウトの班の交流を目的とした小さな大会

の中に作られたキャンプ・タマは、端から端まで歩くだけで、ちよつとしたハイキングになるほど広大な施設。六〇〇人分のテントも軽々と飲み込んでしまいます。期間は、三月二五日の金曜日から三日間。初日は、午後二時から五時までの間に受付とキャンプ設営をすませ、最終日の午前十一時三〇分から午後二時までに全員が退場を完了します。つまり両日をおもに準備と後始末にあて、土曜日一日をフルに使おうというプランです。日本人の感覚では、非常に贅沢なスケジュールですが、アメリカで週末キャンプといえば、これが一般的とのことでした。

さて、具体的なプログラムの話に移りましょう。この大会の中心になるのは、次にあげた三つの行事です。

### ★巣箱コンテスト

周囲の林に巣箱をかけることで、キャンプ場への感謝の気持ちを残す意図から考えられた自然愛護のプログラム。巣箱作りは大会当日までの宿題で、広場には各班の手作りの巣箱がずらりと並び、人々の目を楽し

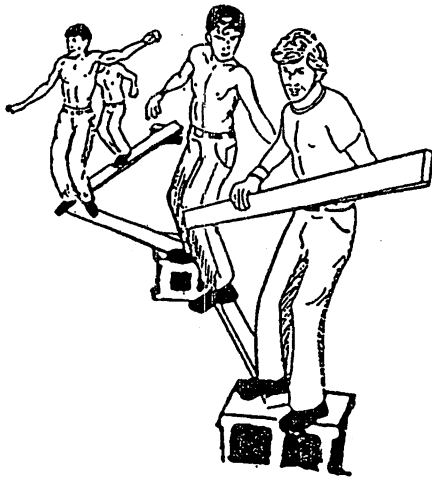
ませました。

ボーイスカウトの鳥類保護章の課題にもなっている巣箱作りには、スカウトの能力を伸ばす複数の要素が凝縮されています。特定の鳥を想定して、習性を学ぶことから始まり、材料の選び方、デザインまで多くの点に気を配らなくてはなりません。

当日は、九段のライオンズクラブからも、巣箱一五〇個の寄付がありました。それらは巣箱のお手本のようなシンプルな形態です。本当に鳥にとつて棲みやすい巣箱のあり方を突きつめていくと、それなりのルールがあり、穴の大きさや、木に鉤をかけるかどうか、巣をかける高さや方角なども考えなくてはいけないのだそうです。スカウトたちの巣箱は、棲みやすさという点ではユニークすぎたかもしれませんが、いつか鳥たちが利用してくれるといいと思います。

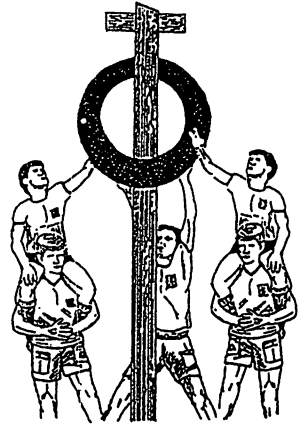
### ★チャレンジ・トレイル

今回のパトローリーの行事の中心となったのは、チャレンジ・トレイルといわれるゲーム大会です。午前中九時から一二時までと午後三時か



## 飛び石渡しゲーム

- ・コンクリートのブロックを沼地の陸地と想定する。
- ・班員は、ブロックからブロックへ橋渡しするために持てるだけの板を使い、最後には沼の反対側に渡る。
- ・足を踏み外したり、沼へ落ちた人はワニの餌になってしまう。
- ・沼の中に落ちた板は使えなくなるので、置いてきた板を使わなければならなくなる。
- ・ブロックは動かすことができなくなるので、行き止まりや障害を作るために動かしてはいけない。
- ・2×4の合板はかるく、そして重量にも耐えるものである。より一層楽しくするために、いくつかの板は2メートルに、他は2.5メートルに切る。



ら五時まで、計五時間以内に、一三のゲームを行うというものです。各ゲームは、広大な敷地内に点在しており、回る順番は自由。各班ごとに地図を見て移動することでキャンプ場全体を知ってほしいという、主催者側の配慮でもあります。

ゲームはすべて、班のメンバーが協力しながら行うものばかり。伝統的なボーイスカウトのゲームと新しいゲームを組み合わせて考えられています。リレーなど新人のスカウトにもできる簡単なものもありますが、先輩スカウトが新人を助けなければできない難しいゲームも三つほど混ぜておきます。「先輩はすごい」と思うことが、ボーイスカウトへの憧れとなっていくわけです。ゲームの中には、夜のキャンプファイヤーのときに全員の前で披露する班ごとの出し物のオーデイションもあります。人数の関係上全班が披露するわけにはいかないのです。ここで客観的に見ておもしろいものだけに絞っておくのです。

ゲームはひとつクリアすることに、

スタンプがもらえます。ゲームそのものの楽しさもさることながら、スタンプがたまっていく達成感、地図を見て自分たちの力で次の目的地に行く不安と裏腹なおもしろさが、スカウトたちを引きつけていたようでした。

### ★交歓夕食会とキャンプファイヤー

日本のスカウトが、自分たちのサイトにアメリカのスカウトを招待し、ご馳走します。サイトごとに趣向を凝らしたメニューは、お好み焼きや焼きそば、もんじゃなどの鉄板ものやシチュー、鍋、すき焼きなどが中心。多くのスカウトたちは、ここで初めてアメリカのスカウトと触れ合います。言葉が通じないこともあって、最初はぎこちなかったけれど、珍しい日本の味が橋渡しとなつて、何となくコミュニケーションがとれてきたようです。デザートはアメリカのスカウトの担当。カップケーキなどもすべてお手製。中には、その場で鍋を使ってケーキを焼くアウトドア・クッキングの達人もいて、なかなか楽しい夕食会です。

キャンプファイヤーは、インディ

アンの儀式にのっとって始まります。ドラミングのテープが流れ、羽飾りをつけてインディアンに扮したスカウトが何人かのスカウトを選び出し、一か所に集めていきます。エキゾチックで不思議な雰囲気の様式は、たいへん印象深いものでした。

スカウティングの行事は、少年たちが興味を持ち、わくわくしながら参加することがなにより大切です。しかし、ただ楽しいだけでなく、裏には必ず隠れた目的がなくてはなりません。たとえば今回のパトローリーでは、自然愛護や感謝の気持ち、協力、リーダーシップ、責任感、ほかの国の人と触れ合う勇気がそれにあたります。

日常のプログラムの中にも、スカウトたちの心を動かす何かが見え隠れしていることが大切です。それは必ず伝わって、彼らが成長するための糧となっていくでしょう。ボーイスカウト活動は、参加するスカウトが人間的に成長し、幸福な人生をおくるためにあります。そのことを忘れずに、プログラム作りをしていきたいものです。

# 11NJ情報 17



## 第11回日本ジャンボリー(11NJ)

期 間 平成六年(一九九四年)

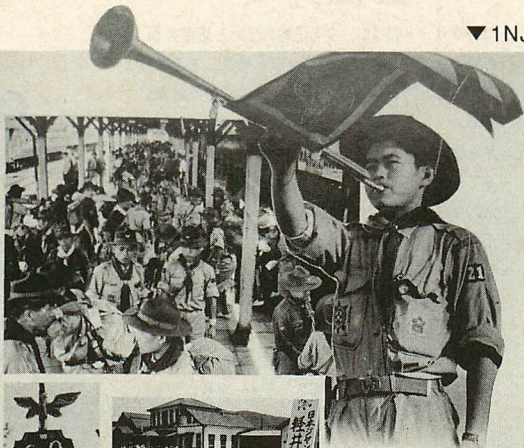
八月三日(水)～七日(日)

会 場 大分県 久住高原

テーマ 「蒼き草原より 未来へ」

地球にやさしい  
ジャンボリーをめざそう

▼1NJ



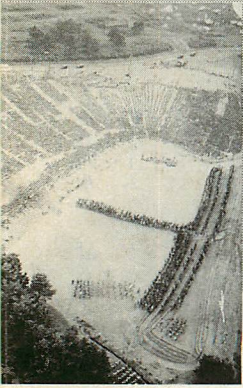
大分県庁



軽井沢駅に到着



設営の道具



スカウティング八月号発行日現在、今まさに第一回日本ジャンボリーが開催されようとしている。

四年周期で開催されているボーイスカウト日本連盟最大のキャンプ大会。過去十回の大会を振り返り、今回のジャンボリーに至る長い歴史をまとめてみよう。

### 第一回日本ジャンボリー

(長野県・軽井沢 昭和三二年)

第一回の日本ジャンボリーが開催されたのは昭和三二年。この年は、日本のボーイスカウト運動が戦後再建された一〇周年記念の年にあたる。

これ以前、皇居前広場(昭和二四年)新宿御苑(二五年)、蔵王山麓(二六年)において開催されたボーイスカウト全国大会は運動再建中ということもあって、諸外国からのスカウト招待などを含めた本格的なナショナルジャンボリーにできずにいた。それだけにこの大会がどれほど期待され、熱望されたものであったか、現代の我々には想像も及ばないものがあつたことだろう。

この第一回ジャンボリーは第一〇回の大会と同様、好天に恵まれすぎて砂

埃に悩まされる大会であつたという。

昭和三二年といえば、東海道新幹線も開通していない時代。この頃一万三〇〇〇人が全国から集合したのだから驚きである。ちなみに当時、スカウト手帳が二二〇円。大会記念丸首半袖シャツ(Tシャツ?)が二〇〇円。ジャンボリーの参加費は五〇〇円であつた。

### 第二回日本ジャンボリー

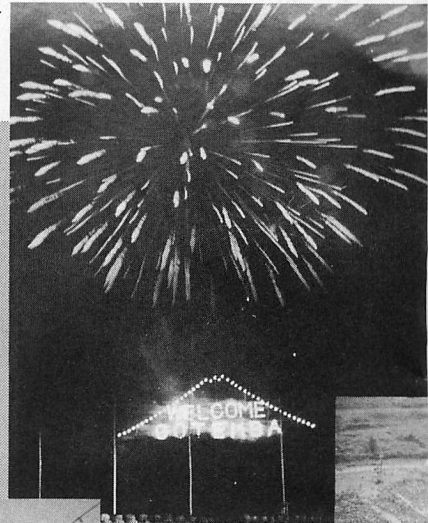
(滋賀県・饗庭野 昭和三四年)

最近では平成四年に第三回のシニアスカウト大会の主会場となつた滋賀県・饗庭野。第二回のジャンボリーはここで開催された。

大会第二日夜から雨が降りはじめ、強風と横なぐりの大雨の中、皇太子殿下(現天皇陛下)の閣団のもと、一万七〇〇〇人の大パレードが行われた。

後に風雨の中の行進で病人が続出との大げさな新聞報道があり、物議をかもしました。また、この大会で沖繩連盟が全国大会初参加となつた。

3NJ



▲2NJ

▼4NJ



▼5NJ



4NJ

第三回日本ジャンボリー (アジアジャンボリー・静岡県・御殿場 昭和三十七年)

参加者数も二万六〇〇〇人とかかなりの規模に膨らんできた第三回。参加外国一六か国のうち一三がアジアの国々であった。余談だが、このうちイランとドイツの代表スカウトは各一名。派遣団の進行の際、二四三名のアメリカスカウト集団にも負けない堂々たる態度のスカウトであったという。

また、この大会を振り返る寄稿の中に、早くも「大会運営への慣れによる油断」を懸念する一文があった。今、三三年後に第一一回を迎える我々はなおさらこの言葉に身を引き締めなければならぬだろう。

第四回日本ジャンボリー (岡山県・日本原 昭和四一年)

この大会では五〇〇〇個の風船が空に放たれ、開会式を彩った。現在では野鳥や野生動物が風船の破片などを食べて喉やお腹に詰まらせてしまうことなどから敬遠されているものであるが、そのダイナミックな美しさはやはり開会式を印象的なものにした。地元

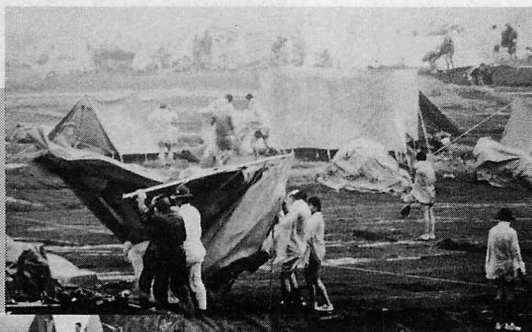
岡山連盟のスカウト一〇〇〇名が風船係としてこの演出を支えた。

また、シニア大会のまだないこの頃、年長スカウト(現シニア)も大会へ参加していた。演技大会ではこの年長たちによるフォークダンスを実施。地元女子高生三〇〇名がパートナーとして参加した。

現地開店の日本連盟需品部としては、これまで専らユニフォーム等の衣類の販売であったのが、このとき初めてワッペンやペナント、キーホルダーなどの記念品を販売。朝からの大賑わいで係員はてんでこまいであったという。

第五回日本ジャンボリー (静岡県・朝霧高原 昭和四五年)

三万二六五三名という史上最高の参加人数を誇る第五回。この同じ会場で翌年行われる第二三回世界ジャンボリーへ向けてのいわは巨大ナリハーサルという意味合いもあった大会。水道やトイレといった生活施設が豊富で使い易いとの評判が高い大会であった。また、大会期間の数日前、大阪で開催された日本万国博覧会での「世界スカウト友情のつどい」にも二〇〇〇名



▲6NJ



▲6NJ

▲8NJ

のスカウトが参加。二〇か国の参加スカウトと交流した。

第六回日本ジャンボリー

(北海道・千歳原 昭和四九年)

開催前年秋からの狂乱物価および資材の不足による予算の大幅な狂いや、労働団体によるジャンボリー反対運動、大会開催にぶつかる国鉄のスト予定など大会の中止も考えられるような不測の事態が直前に連発して全国の関係者を心配させたジャンボリー。

万難を廃して開催となると、キャンプサイトは森林に覆われた大自然。スカウトの開拓魂に大いに訴える会場。閉会式・撤営が大雨に見舞われた大会でもあった。

第七回日本ジャンボリー

(静岡県・御殿場 昭和五三年)

第六回の閉会から引き続きかのように、設営時にジャンボリー会場が風速二〇メートルあまりの暴風雨に見舞われ、一部の参加スカウトは場外への退避を余儀なくされる大荒れのキャンプイン。会場内の交通は麻痺し、野営資

材の配布もままならず、嵐の一夜を耐え抜いてようやく雨も収まり閉会式を迎えた。好天が続き、大集会は皇太子殿下(現天皇陛下)のご家族そろってのご台臨もあり、一〇万人の見学者を迎えてのまさに大集会となった。

しかし、閉会式は再び豪雨に襲われ、全体行事としての閉会式は中止。各サブキャンプ毎の閉会式となった。参加スカウト、一人ひとりに大自然に対する畏敬の念を抱かせた大会となった。

また、撤営時には合計二千本あまりの苗木をサイトに植樹してスカウトたちは会場を後にした。

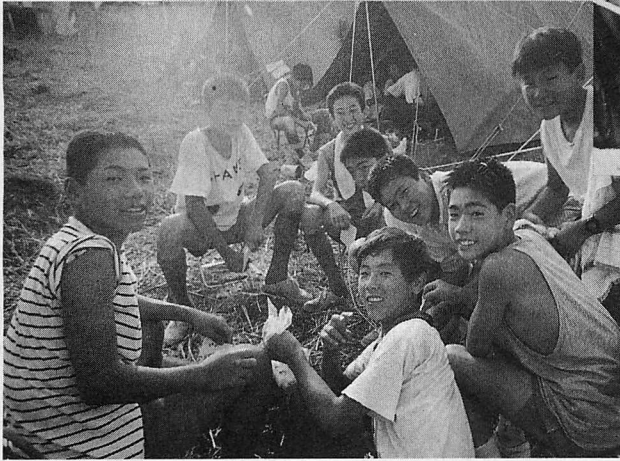
第八回日本ジャンボリー

(宮城県・南蔵王山麓 昭和五七年)

第七回に続き、この回も設営が暴風雨に襲われるが全参加者の日頃の訓練の成果で無事開会式を迎える。

この年はボーイスカウト運動が創始者ベーデン・パウエル卿により始められてから七五周年を迎える「世界スカウティングの年」であり、日本連盟の創立六〇周年でもあった。この記念すべき大会に、浩宮殿下(現皇太子殿下)がお見えになり、スカウトとともに隊活動へ参加。夜にはテントでの野営も

9 N J



10 N J

なさり、話題多い大会でもあった。

### 第九回日本ジャンボリー

(宮城県・南蔵王山麓 昭和六一年)

広大な野営場設立を目指した南蔵王山麓に再びお世話になった第九回。開会前から好天に恵まれ、開会式の後には浩宮殿下の再度の野営参加もあり、晴れやかなスタートを切ったジャンボリーであった。前半を無事終えかけた頃から雨に襲われ、雨中の大集會が暴風雨のため途中で中止。全員でサイトの確保につとめることになった。翌日は復旧作業。すっかり晴れた最終日には受け入れ人数を大幅に増加した各種プログラムにスカウトたちが挑戦し、会場は再び歓声に包まれた。

### 第一〇回日本ジャンボリー

(新潟県・妙高高原・平成二年)

一〇回にして初めて、雨の全くないジャンボリーとなった。雨、風によるサイトへの生活ダメージもなく、存分にプログラム参加時間がとれたが、その分スカウトたちは炎天下でのプログラム消化に相当体力を消耗した模様。

日射病、熱射病の患者が続出した。この大会では参加外国数が例年の倍。三二か国から仲間を迎え、国際化の進展をスカウトたちが肌で感じる機会となった。

フレンドシッププラザでの各種パビリオンの設置、カブ・ビーバーデイの設定など、様々な新しさが大会に盛り込まれ、また、炎天下の湯水も手伝わってか会場内を歩くスカウトたちの手にペットボトルのソフトドリンクが握られ、ジャンボリーのムードに変化が現れたことも新しさの一つとして話題になった。

以上これまで一〇回の日本ジャンボリーを振り返ったが、今、まさに開催されている第一回は、いったいどんなジャンボリーになることだろう。

これまでのジャンボリーとすでに違うことは、会場が牧草地であることから、①火が焚けない、②決められた場所しか排水できない、③溝や穴を掘ることができない、の三つ。新しい野営技術が要求されるこの大会。全国のスカウトたちがいかにこの課題をこなしてくれるか、また天候は大会全体にどんな影響をもたらすのか、全国の仲間が注目している。

# 自分のカヌーは自分で漕げ

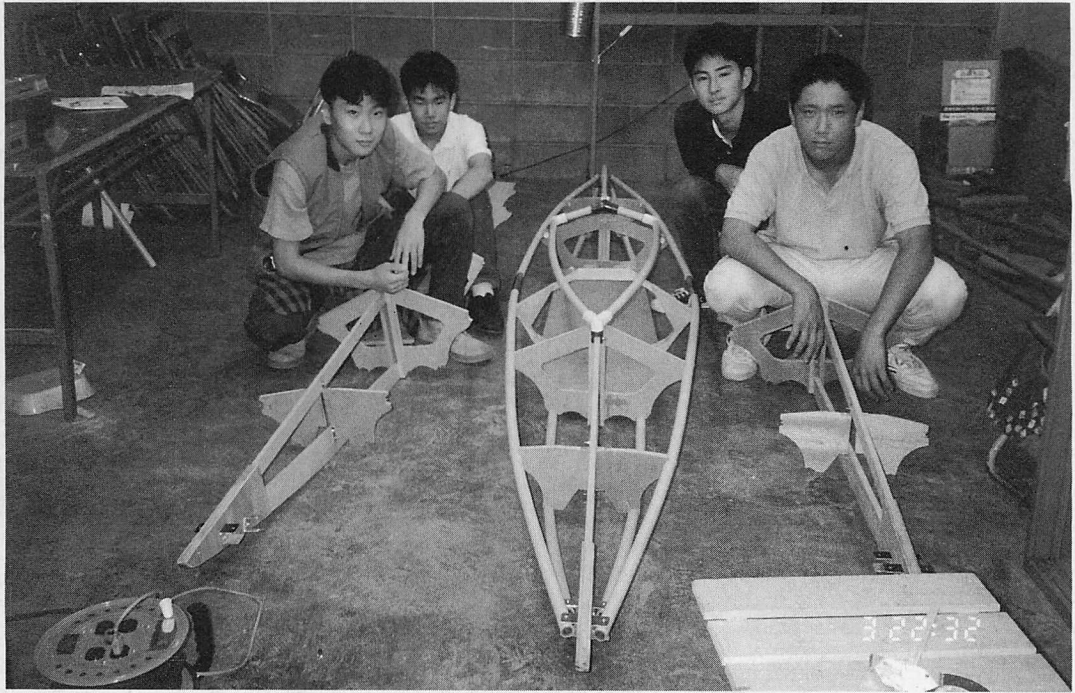


写真  
横浜第七三団

スカウティング編集部にも、カヌー製作に関するお便りが2つ届いた。神奈川・横浜第73団からは、1人のスカウトが富士スカウトの個人プロジェクトにカヌーを選んだのがきっかけで、隊全体でカヌーを製作、ツーリングをしたという体験談が。大阪・堺第24団からは泉州地区のペーロン大会に参加するために製作したカヌーの構造が図面付きで。

夏本番の8月、いろいろなことを計画しているキミたちに…。こんな活動を紹介しよう！

(誌面は横浜第73団の活動記録を中心に、堺第24団の設計図等を加え、編集部で構成しました)

『自分のカヌーは自分で漕げ』(ローバリング トゥ サクセス)という文章を読んだスカウトがカヌーを自分の富士の個人プロジェクトにしたいとてきました。「ヨットは風任せだし、ボートは人が後ろ向き。カヌーは前を見ながら自分で漕ぎ進むのがいい」しかし、当団はカヌーを所有しておらず、もし買えたとしてもそれでは真の意味での自分のカヌーとはならないため、自作することにしました。そこで富士の個人プロジェクトは自分のカヌーを自分で作り、さらにその後後輩を指導してカヌーを製作し、それらのカヌーを持ってツーリングをすることにしました。

神奈川・横浜第73団

● 泉州地区のシニア隊地区活動に、夏行われるペーロン大会があります。この大会はシニアスカウトの手作りカヌーでスカウトが漕ぎ競う大会ですが、堺24団では態勢が整わず長い間参加できませんでした。カヌー班を編成し、約1年をかけて勉強会、計画検討会を経てようやく製作に着手し、一昨年第8回大会に初めて参加することができました。初参加ではカヌーの安定が悪く練習中に転覆し、本番では完走するのがやっとの状況でした。翌年の大会では、重量を軽くし、安定性を増す工夫もでき、大会に耐え得るカヌーができました。

大阪・堺第24団



四月からカヌーの製作の準備に取りかかる。スカウトたちが自力で運ぶツーリングを行うということで、

調査の結果、ファルトカヤックカヌー（折り畳み式で、デッキがあり水が入りにくいカヌー）を特殊な材料は使用せずに、日曜大工の店で手に入るもので作ろうということにした。いろいろな手段を用いて調べたが、図面などは最終的には近隣団の指導者が製作した艇をお借りし、それを見本として製作に挑戦した。当団のシニアスカウトも部活動との両立に苦労しているので、主な製作時間は部活動が終わってからの時間でそれは夜中にまでおよんだ。梅雨が終わり暑い季節となり、窓を開けられるようになるのと逆に隣の団ルームへの騒音の迷惑を考え、汗にまみれながらも窓を締め切ったままの作業となった。

製作に並行してカヌーの操作の訓練を行った。これは、横浜カヌー協会が開催するカヌー教室に参加し、ツーリングに必要な技術を出席可能なスカウトが習得する。それに参加することのできなかつたスカウトに対し

ては現地で練習する時間を作り、操艇についての問題を解決して行った。

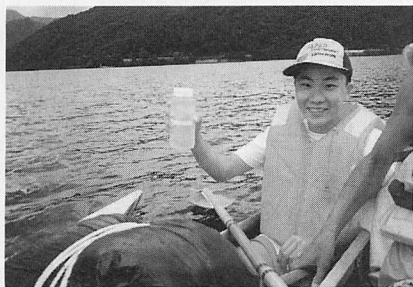
ツーリングを行う場所についても、カヌー教室に参加したスカウトから自らの能力についての報告を受け、今回は初めてであるので流れのある川や海で行うことに大きな不安が拭き切れず静かな湖でツーリングすることにした。その後、本などを調べた結果裏磐梯にあるいくつかの湖が候補となり、リーダーを伴った下見をし松原湖に決定した。これは、湖の水質、風、キャンプ場が湖畔にありカヌーで乗りつけることができる、などの条件を満たし、また荷物を運ぶための大きなカナディアンカヌーを貸し出すところが近くにあり、松原湖までの輸送をしてもらえることが確認できたからである。

このようにプログラムが煮つまつてきたころ、一人の準スカウトになるべく準備をしているスカウトから、このツーリングにおいて湖の水質調査をしてみたいというニーズがでてきた。これに関しては専門家の意見を聞くことが大切だということにな

り、横浜市の下水道処理施設に相談に行ったところ、快く手助けをしていただけるということで、今回の調査は、透視度、CODの二点について行うことにした。透視度はスカウトが測定のための道具を自作した。

CODは湖で採集したものをクーラーボックスに入れて保冷し、現地より低温で配達する業者をあらかじめ探しておき、直接横浜市鶴見下水道処理場に送ってもらうことにした。

八月二〇日早朝、横浜をカヌー四艇、野宮の道具等を担ぎ、高校三年生一名二年生四名一年生一名が出発。昼、キャンプ場に到着、カヌーを組み立て操艇の練習をする。



## 富士スカウトに挑戦!

神奈川 横浜第七三団 三宮雅仁

私はベーデン・パウエルのローバリング・トゥ・サクセスを読み、カヌーに魅せられて富士の個人プロジェクトにカヌーを選びました。

四月から準備を始め、製作、カヌー講習、そして八月のツーリングキャンプまで、今までにない大きなプロジェクトを経験することができました。長い時間をかけて準備していた方がいいがあり、自分でもまあまあ満足のいくカヌーができました。ツーリングも、重たいカヌーを背負って持っていた分、その喜びは人一倍でした。今でも水上からの景色、朝日の磐梯山は目に焼き付いています。今回のプロジェクトを通じていろいろな方にお話になり、高校生活最後の夏に貴重な体験をすることができました。多くの方にお話になったことを感謝し、よりよい富士スカウトになれるよう努力したいと思います。また一人でも多くの後輩スカウトが、自分と同じような経験をしてくれればと思います。

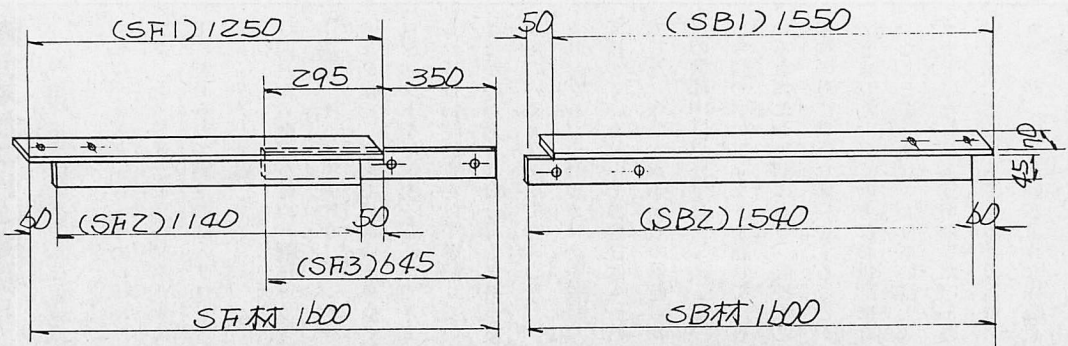
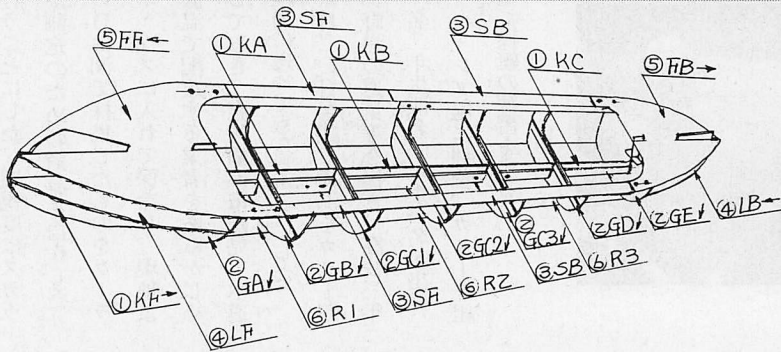
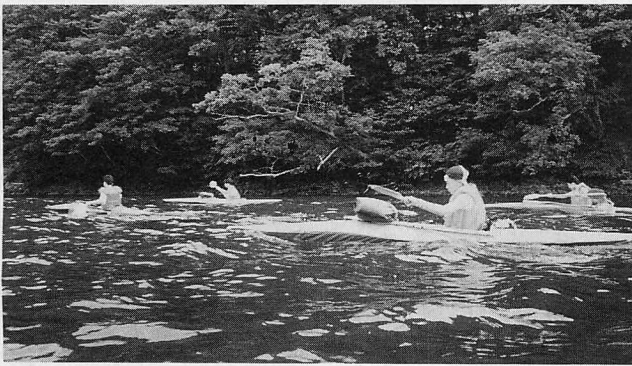
二二日朝礼後、撤営をしカヤックには個人装備を、カナディアンには隊装備を積み、水質調査を行いながらツーリングにでる。岸沿いに進み昼食を上陸してとった後、ツーリングを続け湖畔のキャンプ場まで行く。

二二日朝、前日と同様に岸沿いに進み、その後湖の横断最終目的地としたバス停付近に上陸。カヤックを折り畳み、採集した湖水のサンプル一〇本とともにバスで駅に出る。そこで運送業者にサンプルの配達をお願いし、鈍行列車で帰路につく。

二三日、鶴見下水道処理場において下水道場職員指導の下、CODの実験を三名のスカウトが行う。

こうして松原湖半周一六kmのツアーは事故もなく終了することができた。今回のプロジェクトは富士スカウトをめぐすスカウトが中心となり実施したが、シニア年代としては高度なものだと指導者として考えている。指導者としてスカウトのニーズをいかにその希望に沿った形として行えるかに苦労をした。高度なレベルを求めその結果プロジェクト途中で挫折してしまつて

は、このスカウトにとってはよい経験だと考えられるが、それを見た後輩のスカウトにとってシニアスカウティングが魅力なく映る。挑戦してみたいが本当にできるのかとスカウトが思う。しかし、指導者として勝算があるレベルとなるようにアドバイスしていく。できることならば本物に触れる機会を与えていく。これがシニアスカウティングを魅力ある活動としていく方法であると思われる。

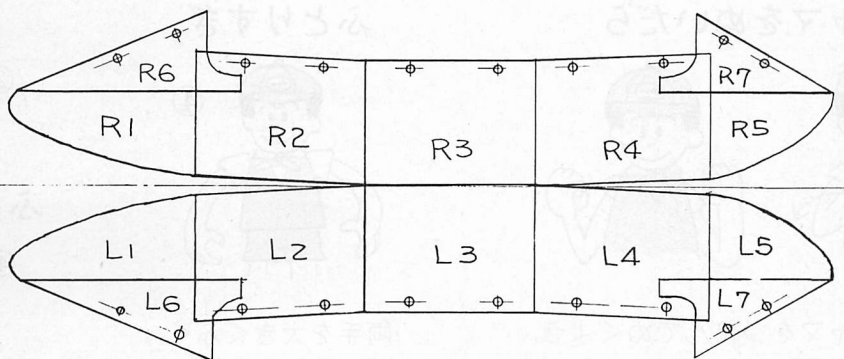


### 堺第24団製作カヌーの基本的な考え方

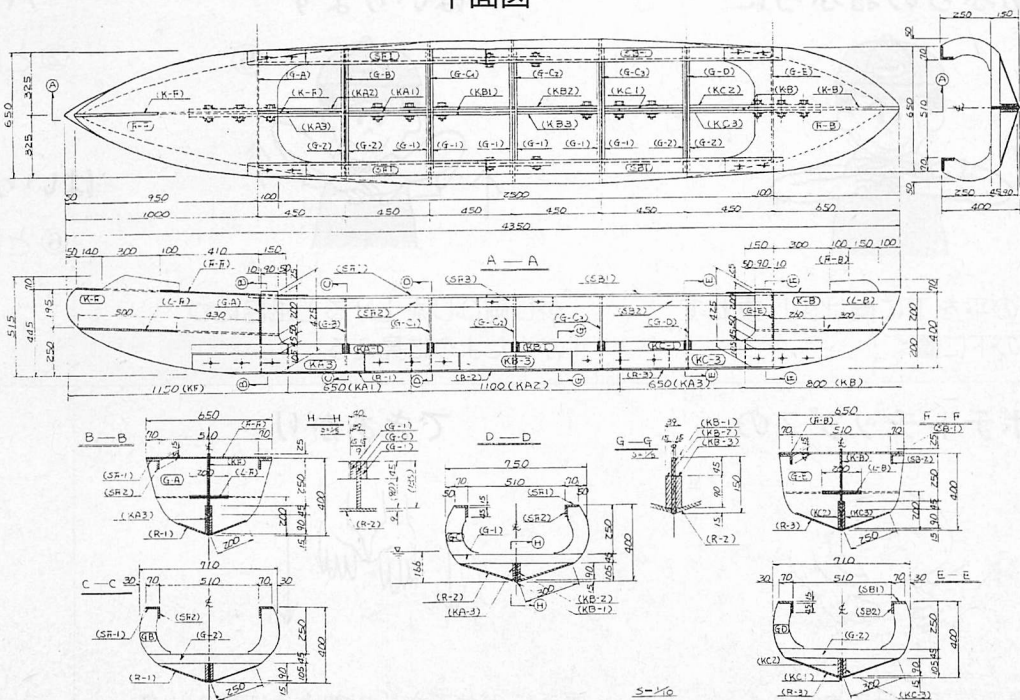
堺24団では、製作カヌーをそのまま保管する場所がなく、乗用車で運べる程度の部材寸法とする組立式カヌーを計画しました。計画にあたっては、次の事項を基本としています。

- (1) カヌーは組立式とし、骨材は木製、覆いはビニールシート製
- (2) カヌー製作は、シニアスカウトの木工技能で作れる程度のもの
- (3) 使用材料は近くの日曜大工店で調達できるもの
- (4) 製作図面はリーダーが作成し、これに基づきスカウトがボール紙で1/10程度の模型を作り、構造を理解して製作に着手する

カヌーの基本構造は、地区野外活動でよく使用されている合板ベニヤに切り込みを入れテーブルと椅子が一体になった組立テーブルの構造を参考にしています。



平面図



### はたけの



くわを持って畑を耕すように右、左へ1回ずつ両手と右足で土を掘るしぐさをする

### じゃがいもが

①と同じ

### ハア

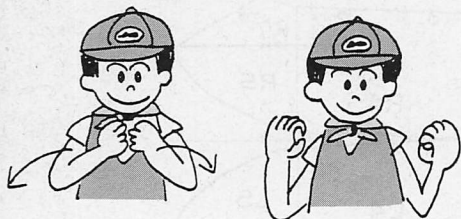


両手を広げて下から上へ出す

### じゃがいもが

①と同じ

### パジャマをぬいたら



両手でパジャマをつまんでぬぐうように、左右に広げる

### ふとりすぎ



両手を大きくふくらます

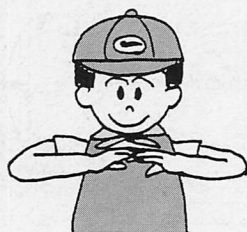
### ハア

②と同じ

### ふとりすぎ

④と同じ

### あぶらのおふろに



両手の平を下に向け少し重ねてあごの下に置く

### はいります



少し両ひじを上げると風呂につかったように見える

### ハア

②と同じ

### はいります

⑥と同じ

### ポテトチップスの



顔の前で両手で丸をかく

### できあがり



両手にのせてさし出すように前へ出す

# アクションソング DE GO! GO! GO!

## ポテトチップス

子どもたちの大好きなおかしーポテトチップスの歌です。畑の中のどろつきジャガイモから、ポテトチップスになるまでの流れを考えながら元気よく歌ってください。

あ のって あ のって  
(パン) (パン)

手拍子

のって のって のって のって  
(パン) (パン) (パン) (パン)

ムクムク



両手で地面を作り、ゆっくり顔を出していく

かおだして



両手の平を下にして顔を出して止める

ハア

②と同じ

かおだして

③と同じ

トントントントン



左手の平を上向きにしてまな板の代わりにし、右手を包丁にして切るまねをする

スマートに



両手の平の間を狭くして上から下へくねらせて細さをあらわす

ハア

②と同じ

スマートに

⑤と同じ

パッパッパッと



右手で塩をつまんでパッと開くように、左から右へ3～4回動かす

しおふって

⑦と同じ

しおふって

⑦と同じ

ハア

②と同じ



## 奥秩父主稜全山完全縦走記録

厳冬の1月3日、第5次遠征隊の金峰山登頂により4年の長期にわたる大計画はここに完結を迎えました。完全な記録を報告し、努力の足跡を振り返り次へのステップとします。

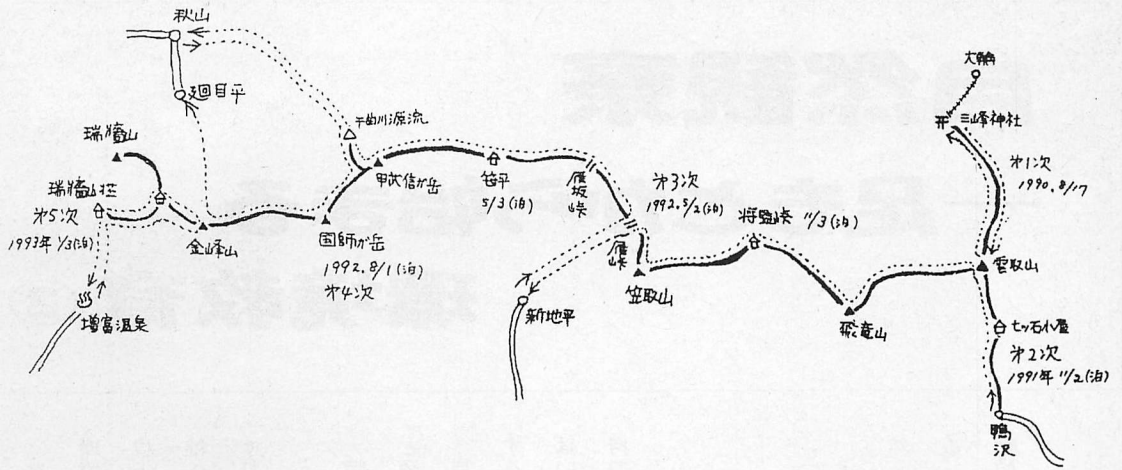
川越第9団 シニア隊長 平林 功

奥秩父の名は「秩父の奥山」という意味です。この地が「秩父多摩国立公園」の名称で国立公園の指定を受けたのは、昭和二十五年です。その中には奥多摩の山々や大菩薩嶺も含まれています。

私たちが頂上を踏んだ主な峰々を挙げると東から雲取山、飛竜山、笠取山、雁峠、古札山、雁坂峠、甲武信ガ岳、国師ガ岳、北奥千丈岳、大弛峠、金峰山、と歩いてきた足跡が手にとるように振り返ることができます。

雲取山から東に走る石尾根は奥多摩と呼ばれる範囲内であり、北もしくは西側へ連なる尾根は西上州や佐久の山々と結ばれています。私たちがこの壮大な大計画で対象にしたルートは、その明確で太い主稜線上に道を求めました。表題に「主稜」の二文字を入れ「奥秩父主稜全山完全縦走」としました。

ルート上の最高峰は標高二六〇一メートルの北奥千丈岳です。しかし



この山は主稜線上から少し南に外れているため、訪れる人は多くありません。倒木が折り重なる古い原生林は太古の大自然を感じさせずにはおきません。主稜線上の雁峠、雁坂峠、将監峠は広くなだらかな斜面が続き、見晴らしの良い展望は山の良さを心から味わうことができます。

ここに過去五回に及ぶ遠征隊の踏みしめた山道を辿ります。

第二次遠征隊。一九九〇年八月一七日（日帰りコース）。夏期キャンプ中に二泊二日の移動キャンプを計画したが、急拠計画の許可が取り消されてしまった。それでも雲取への夢は捨て切れず、白岩山までぐらいは行きたい。隊員の熱い希望で行けるところまで行こう、ということになった。彼らのたくましい行動力はついに雲取山への頂に立った。午後二時であった。

第二次遠征隊。一九九一年一月

二日～四日（二泊三日）。参加者八名。晩秋の山道。まず雲取山の頂に立つため夜七時出発。到着は午前八時であった。紅葉の稜線を進み、将監峠泊。翌朝雲取山から雁峠まで進み、下山した。

第三次遠征隊。一九九二年五月二日～四日（二泊三日）。参加者四名。雁峠へ登る。春浅いのどかな峠路。高度を上げるに従い残雪を踏みしめて歩く。西破風山のあたりでは完全な雪山である。積雪は二メートルはある。体力の消耗が激しく、甲武信が岳まで進んで下山。あたりは春陽あたたかな山村の昼下がりであった。

第四次遠征隊。一九九二年八月一日～二日（一泊二日）。参加者四名。夏の午後の雷雨の中、倒木の尾根道をびしょぬれになって進む。国師が岳手前でビバークする。翌朝雨の中を出発。大弛峠で雨は止んだ。廻目平から、バス下山。

第五次遠征隊。一九九三年一月三日～四日（一泊二日）。参加者三名。冬山への挑戦。正月の明けやらぬ三日。葎崎に着いたのは早朝四時半である。真つ暗な闇の中、懐中電灯をたよりに登り始めた。雪の稜線が陽光にまぶしい午前一〇時、金峰山頂に立つ。

“雲取山”から始まった私たちの大計画。“金峰山”に続く主稜の二〇座の点が、すべて二本の線に連なった。



# 自然観察

## 一足もとから始まる

### 環境教育 ②

ちょっとした工夫をすることによって

環境教育はどこでもできる。ボーイスカウト活動で行った森や林の中、学校や会社へ通う道、見かける街路樹だって注意すればいろいろな自然が見えてくるはず。

ふだん見慣れた身近な風景も、日を変え時間を変えて訪れば、四季の変化・昼と夜の変化など様々な姿を見せてくれる。

自然の巧みな営みを体全体でキャッチするためにはどのような点に気をつけられたいのか。今回は「自然観察」の際に持つべき視点について見てみよう。

#### 自然観察の視点

子どもたちを連れて野外へ。何とか自然との触れ合いを体験させようと努める。この場合、えてして陥りやすいのが動植物の名前を教える「自然についての

解説」だけで終わってしまうことだ。

せっかく自然を目の前にしているのに、これではもったいない。動植物の名前を覚えることが目的ではなく、まず自然の中で自由に遊ばせる。そして子どもたちから投げかけられる発見や疑問を一緒に話し合ってみる。そして自然のつながり、あるいは自然と人間とのつながりを体験を通じて知ることが大切なことの一つ。

自然を「観察」するために、リーダーはどのような点に気をつければよいだろうか。

#### 探ってしまっってはわからない自然が見えてくる

採らないで観察してみる。花を折って採集すれば、より詳しくその構造を観察することはできるが、その花が自然の中

でどのように暮らし、どんな役割を果たしているのかわからなくなってしまう。

自然のままの状態を観察すれば、そこにハチやチョウが飛んできたりする。自然のつながりを目の前で観察できるチャンスがあるのに、花を採ってはせっかくのチャンスを逃してしまうことになってしまう。

「自然を近づけるのではなく、自分から自然に近づくこと」が大切だ。

#### 自然保護は足もとから始まる

自然は子どもたちを育ててくれる。自然はパターン化されていない。子どもたちがそこで時間を過ごすとうんと出てくる。どうしても自分たちで工夫する必要が出てくる。



ここで木登りとジャングルジムに登ることを比べてみよう。ジャングルジムと違い、木に登るときは「あのくぼみに足をかけて、あの枝に手をかけて」と考えなければならぬ。しかも、その木の様子も一本一本まったく違うのだ。自然の中で遊んでいるうちに、子どもたちの頭と体は次第に柔軟な対応を見せるようになっていく。

遊んでいるうちに、木に触ったり、においをかいだりと、五感が養われる。そして、考えるという行為。自然の中で様々な生き物の生活に接していく間に、子どもたちの胸には、いろいろな疑問が生まれてくるだろう。疑問にすぐに知識で解答を出すのではなく、その「なぜ」を生かしてあげたいものだ。

もし動物や植物の名前を聞かれても、それを教えてあげるだけではないけない。

どんなことに気づいたか、どこに興味を持ったのかを聞き、一緒にじっくりと観察してみたい。わからないことや知らないことも子どもたちと一緒に考えて行く姿勢―これが私たちに一番求められていることなのだろう。

「自然観察」を通じて、子どもたちには自然のしくみと変化を体と頭でしっかりつかんでもらいたい。例えば、森全体を一つの世界として見ていく。森という生態系の中で、生き物たちは一つのバランスを保ちながら暮らしていることを肌で感じる。たった一部が損なわれただけでも、森全体に影響があることがこれわかるわけだ。

この生態系をもう少し大きく捉えてみる。そうすれば自分が住んでいる町も、この国も、地球も一つの生態系として、

生き物たちの繊細なバランスの上に成り立っていることに子どもたちは気づくだろう…。

環境教育は私たちの足もとから、子どもたちと一緒に始められる。

（財）日本自然保護協会では三つの段階を自然保護教育の柱とし、自然観察を行っている。

第一が「親しむ」段階、

第二は「知る」段階、

第三は「守る」段階である。

第一の段階は、遊びながら五感を使って自然を感じる活動。第二の段階では、自然観察を通して自然保護の知識をつけることが重要。生態系に関する知識や人と自然のかかわりについて知り、どうしたら自然を守ることができるかを考えてみる。第三の段階は自然を守るための行動をとることだ。自ら自然保護運動に参

加することはかりでなく、日々の生活の中で電気や石油などエネルギーの無駄遣いを反省するとか、水を大切にするなど、第二段階での自然観察を通して得た知識を実行に移す段階だ。

（三六）

（財）日本自然保護協会では「自然保護を広めるための自然観察会のリーダー養成」を目指して自然観察指導員養成講習会などを開催しています。

詳しいお問い合わせは

（財）日本自然保護協会まで

〒102 東京都千代田区三番町五二-四

山路三番町ビル三F

☎〇三（三三六五）〇五二一

取材協力 （財）日本自然保護協会

参考文献

『自然観察からはじまる自然保護』

【編集・発行】（財）日本自然保護協会

『小さな自然かんさつ 子どもと楽しむ身近な自然』

【編集・監修】（財）日本自然保護協会／発行 思案社

## 河内山宗春

宗俊と書かれることも多い。これは宗春をもとにした河竹黙阿弥の戯曲「天衣紛上野初花（くもにまごうえのはつはな）」で宗俊と書かれて通説になったと思われる。彼はお数寄屋坊主で江戸城本丸に詰め、溜りの間でお茶の接待をするのが職業である。茶坊主とも呼ばれる下級官吏で、組頭七人の下に三〇〇人ほどおり、組頭五〇俵、平坊主三〇俵二人扶持の薄給である。三日に一度出仕してお茶をたてて出す。將軍をはじめ老中、奉行などの幕閣、御三家や上層大名の相手をするのだから、心づけも多く悪い役職ではなかった。

江戸城の殿中で茶事によって奉仕するのであるから、茶道の心得や作法に通じており、茶器の目ききもできた。非番の日などには、ご機嫌うかがいと称して大名屋敷を回ると料理を出してくれ、帰りにはなにがしかの金銭や物品の「お土産」を持たせてくれる。結構な暮らしができたのだが、ほどほどで我慢できる宗春ではなかった。

お数寄屋坊主は世襲で、祖父・宗久は組頭だったが、父・宗築は平坊主で宗春も同じである。平坊主の宗春が大名や豪商、寺社相手に大胆な恐喝がなぜ

できるのかといえは、一二代將軍・家斉の側室・お美代の方の養父・中野碩翁から目をかけられていたからだ。彼の権力は「今清盛」といわれるほど絶大で、碩翁が首をタテに振れば、何事もかなうといわれていた。こんな後ろ楯があればこそ、宗春の恐喝は大胆きわまるものであった。

彼は宗築の後妻が産んだ一人息子で、幼名を藤太郎といった。大事に育てられて頭もよかったが、その頭を悪い方へしか使わなかった。子どもにくせに度胸がよく悪事に対する判断がすこぶる早い。こんな子どもが成長して大名や幕閣を相手に、悪事の臭覚を働かせはじめた。溜りの間で囁かれる内密の話、政治向きの汚い裏事情を見つけてはゆすり、たかりのネタをしこむ。父の後をつぐころには博打と遊所通いに狂い出し、資金を得るために質屋通いを続けるようになる。彼がよく通う質屋に本郷一丁目の「高島屋」があった。大名からもらった品物は質屋としても重宝である。主人・五郎兵衛と親しくなるが、

宗春の連うところは五郎兵衛からもネタを拾うことにある。

彼は妻しづに質草をかかえて通わせた。くるたびに宗春の放蕩ぶりを嘆く。触れなは落ちなん風情に五郎兵衛は、見事に引つ掛かる。浅草観音参りに誘い、帰りに上野の茶屋に上がって、酒を酌み交わしている気持ちになった。そこへ宗春がずかずかと上がってきて「なんてことをしてくれた」と恐い顔でひと睨み、さつと引きあげる。

妻は大いに嘆き悲しむ。「こんなところを見られた

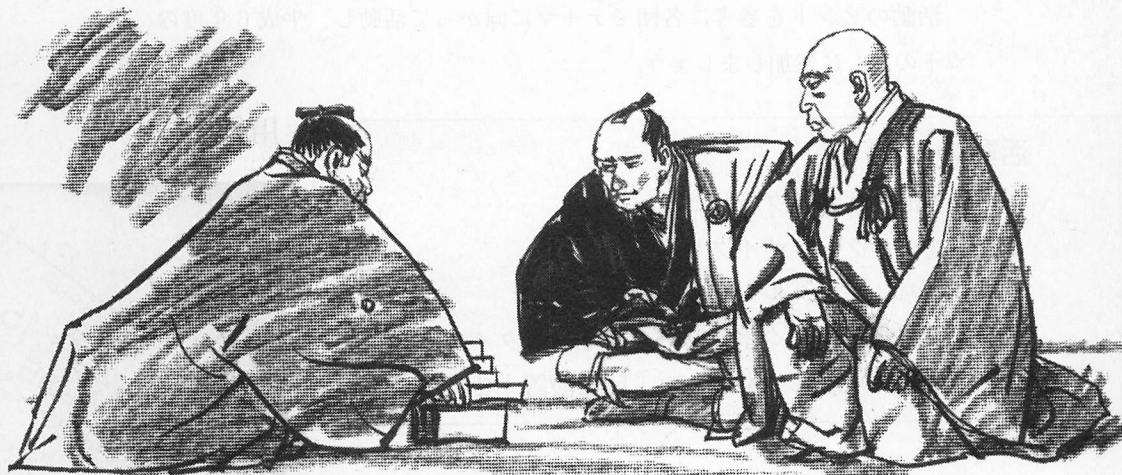


私は、家に帰ることはできません。たとえ不義がなくとも、あの男は許さないとしよう。私を貴方の妻にしていたくしかありません」気の小さな質屋は穏便にすまそうと奔走する。さいわい中に立つ人があつて三〇両で話がつき、胸をなでおろした。宗春夫婦の芝居とも知らずに。

ゆすりの味を覚えると、大物相手に大金を脅しとつていく。そのころ僧侶は寺に女を囲うことは許されなかった。囲い女がいるという寺を訪ね、「寺社奉行の使いで、囲い女がいるか否か事実を確かめにつた。隠しだては為になりませぬぞ」住職はひとたまりもない。寺社奉行の使いでないことがわかつていても、証拠を握られているのだ。それ相当の金子をつつむことになる。

ある大名屋敷に賭場が開かれていると聞きこめば、すぐに出向いて大目付の名で、相手をやりこめてはかなりの金子を脅しとる。大名といえども自分の弱味と、宗春の後ろにいる碩翁の名がちらついて、どうすることもできない。彼は氣をよくして、あらゆるネタを利用した。暴利をむさぼる飲み屋や遊所に向いたり、喧嘩でなぐられた者の代理になって、ついてもいない傷の治療費として法外な金子を脅しとる。凄味のある度胸とタンカに、たいていの相手は萎縮してしまう。庶民から見れば金持ちや悪徳僧侶、えげつない大名たちが絞りとられるさまは、いかにも義賊的で「いよつ、宗春」とおおむこうにうけた。それがのちに「天保六花撰」という芝居になり、同じ悪党の片岡直次郎らと共に重ねる悪事の数々を痛快に描いて、江戸庶民の喝采を得たのである。

さて、直次郎と旅に出て深谷宿に泊まったとき妙な噂を聞きこんだ。小川屋旅館の女房・お滝が物盗



文／太田信行 絵／伊藤展安

りに殺されたが、「傷もなければ一滴の血も流れていなかった」というのだ。悪事の臭覚に鋭い宗春は裏があると読んだ。案の定、葬儀を行った寺の住職がお滝にほれ、彼女を死んだことにして、いったん墓に埋めたあとすぐ掘りだし、寺の奥にかくまっていることをつきとめた。名探偵なみの推理力である。住職から一四〇両、亭主からは女房を取り戻した礼に一〇〇両をせしめ「浮気女房を責めないで、愛してやれ」と忠告までしたという。

彼がなぜ捕らえられたか。それは御三家・水戸藩を脅したからである。そのころ寺社の修復費を得るために寺社奉行の許可を得て、富くじを売り出すことがあつた。その富くじを水戸藩が向島下屋敷で内輪に売り出した。向島は江戸府内に属しておらず、従つて府内の法律にとられることなく売り出したが、府内の札屋も内密に富くじをあつかった。ところが水戸家中の者はかり当たり、我々のは空くじばかりだ。という噂が流れた。

そこへ乗りこんだのが宗春である。「寺社奉行の許可もなく富くじを売り出し、何かの仕掛けで一般人に当たらないようにしているというではないか。得心ある返答を願いたい」応対に出た重役が藩主に相談すると「そやつこの額の子を与えておけ」という。いくらかは定かではないが二〇〇両ほどだといわれている。だが、さすが硬派の水戸藩主・徳川齊修はすぐさま老中に話を持ちこんだ。びっくりした老中は宗春一族の悪党たち、女房を含め一七名を牢にぶちこんだ。文政六年五月（一八二三年）のことである。彼は牢の中でもまもなく死んだ。病死といわれているが、毒殺説も根強い。もし生きていても死罪はまぬがれなかつたらう。四一歳だったという。

# スカウトカントリー大作戦

期日：平成6年9月15日（木） 敬老の日

後援：文部省・厚生省・環境庁

協賛：セブン-イレブンみどりの基金・地球環境基金

地球環境について考え、身近に活動することをボーイスカウトで積極的に推進するため、年ごとに重点目標を定め、活動のヒントと用具を各団に提供いたします。これらのヒントや用具は、セブン-イレブンみどりの基金、地球環境基金の協賛を得て作成いたしました。

今年のテーマは、『リサイクル・省エネルギー』です。

活動のヒントを参考に各団でテーマに向かって活動し、平成6年度の「スカウトの日」に参加しましょう。

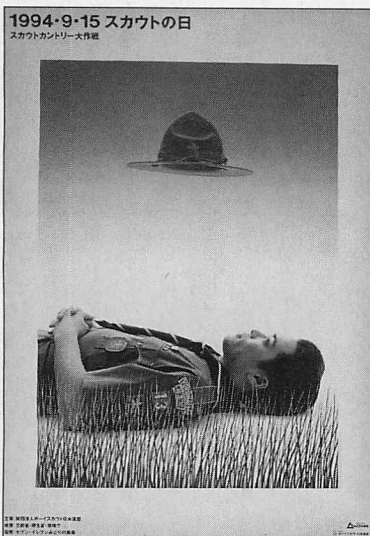
## 活動のヒント

- ・空き缶のリサイクル
- ・牛乳パックのリサイクル
- ・古紙のリサイクル
- ・石油消費を少なくするためのライフスタイル
- ・リサイクルポストをスカウト団に設置する

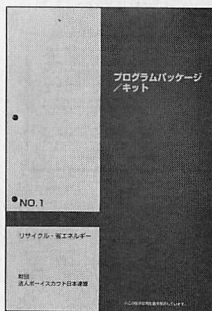
## 用具



風呂敷



ポスター



活動資料「リサイクル・省エネルギー」

## ゴム磁石



リサイクルポスト用シール



ゴミ袋

# ボーイスカウト運動のために

## 維持会員加入のご案内

### この運動にあなたの財政的なご援助を

ボーイスカウト運動は、1907年に英国のバーデン・パウエル卿を創始者として始まり、現在、世界134か国1,600万人が参加している運動です。

日本では1922（大正11）年にボーイスカウト日本連盟が結成され、以来70年あまりの間、次代を担う有為の青少年を育成することを目的に活動を続けて参りました。

これらの活動の財政基盤は、加盟員の登録料、ボーイスカウト用品の売り上げからの繰入金、そして皆様からの維持会費をはじめとする各種寄付金、補助金を収入の三本柱として運営されております。

皆様からのご厚志は、●ジャンボリー等各種大会の開催、●国際社会で活躍、貢献できる人材育成のためのプログラム開発、●国際交流事業の積極的展開、●

野外教育活動の幅広い展開のための野営場、研修宿泊施設の増設並びに拡張強化、●ボランティア指導者の育成強化、に活用され、ボーイスカウト運動の一層の発展のために役立てております。

### 維持会員の種別と会費

維持会員は、個人と法人に大別され、以下の要領になっています。会員としてお申し込みいただきますと、ボーイスカウト運動にご賛同くださる証として入会時に、会員章をお贈りいたします。

会員の種別		会費
個人	通常維持会員	年額1万円以上
	特別維持会員	年額10万円以上
法人	法人維持会員	年額10万円以上

ボーイスカウト日本連盟は文部大臣より「特定公益増進法人」の認可を得ています。

## 財団法人ボーイスカウト日本連盟 維持会員申込書

ボーイスカウト運動の趣旨に賛同し貴連盟維持会員として、次のように申し込みます。

記

個人維持会員	通常維持会員	年額 10,000円以上	円也
	特別維持会員	年額 100,000円以上	
持法人維持会員	法人維持会員	年額 100,000円以上	円也
県連盟還付		要・不要	

1. 郵便振替をご利用の場合(手数料は当連盟で負担いたします)

東京3-56119 (財)ボーイスカウト日本連盟  
(郵便振替をご利用の場合は本申込書は不要です)

2. 銀行振込をご利用の場合

三和銀行武蔵境支店(普通)No.310054  
三菱銀行三鷹支店(普通)No.4001756  
富士銀行調布支店(普通)No.548079

口座名(財)ボーイスカウト日本連盟

年 月 日

郵便番号

住所

氏名

所属団

ご紹介者

氏名

県連盟

県連盟

印

印

印

印

### 維持会員のお申込

このページの申込書を切り取り、必要事項を記入、捺印の上各都道府県連盟事務局またはボーイスカウト日本連盟にお申し込みください。

### 納入方法

会費の納入は、次のいずれかの口座宛にお願いいたします。

1) 郵便振替の場合：東京3-56119

(財)ボーイスカウト日本連盟

2) 銀行振込の場合：三和銀行武蔵境支店

(普通) 310054

三菱銀行三鷹支店

(普通) 4001756

富士銀行調布支店

(普通) 548079

口座名：(財)ボーイスカウト日本連盟

ご支援ありがとうございます。

\*維持会員(平成6年5月に会費を納入された方々・敬称略)

岩手 田 信 洋 瀬 尾 海 夫 小 屋 幹 夫 奥 田 常 夫  
 宮 城 安 達 清 守 吉 川 隆 一 山 階 宏 占 高 橋 調 清  
 栃 木 臣 昭 範 星 野 吉 口 内 幸 正 二 雄 幸 宏 昌 徳 隆 正 江 立 美 郎 土 手 謙  
 群 馬 岸 努 野 竹 齋 細 林 郷 橋 本 信 一 郎 良 次 郎 大 阪 第 33 団 山 口 藤 田 英 信  
 根 岸 真 太 郎 神 奈 川 橋 本 広 茂 東 京 芦 川 一 孝 男 夫 利 多 高 柳 雅 一 杉 浦 博 睦 大 分 加 村 親 義  
 千葉 根 岸 真 太 郎 神 奈 川 橋 本 広 茂 東 京 芦 川 一 孝 男 夫 利 多 高 柳 雅 一 杉 浦 博 睦 大 分 加 村 親 義  
 三 枝 島 神 社 小 藤 太 吉 製 織 三 沢 昭 雄 伊 志 嶺 朝 雄  
 藤 野 田 義 賢 一 男 子 大 井 上 義 兵 庫 狩 野 輝 雄 伊 藤 繁 昭 子 努 茂  
 小 山 下 孝 士 B.S 神 戸 第 47 団 スカウト 育 成 会

### お問い合わせ先

ボーイスカウト日本連盟総務部管理課 0422-31-5161

◀この用紙をお使いください。

必要事項をご記入の上、ボーイスカウト日本連盟事務局または各都道府県連盟事務局にお申し込みください。各都道府県連盟を経由してお申し込みいただいた場合には、維持会費の半額を指導者養成事業補助金として県連盟に交付いたします。

# 誌上ローバームーブメント開催

⑦

シャンボリー真っ最中！ 全国のRS諸君は熱く燃えているか？

先月欄外で紹介したミニ情報「シャンボリー会場におけるローバーおよび同年代の青年仲間の集会」が、今まきに行われているかという夏と真ん中の今日この頃。全国の諸君はいかがお過ごしだろう。この集会の様子はちよつと九月号では間に合わないので一〇月号でレポートする予定。諸君の夏の活動も手紙やファックスで編集部までレポートしてくれたまえ。



誌上ローバームーブメントを毎月楽しみに拝読させて頂いています。このような、誌上での意見交換、活動の紹介等、とても有意義なことだと思います。全国には、真剣にローバリングを考えている仲間がこんなに多くいるのかと思うと、なんかすごく自信がわいてくる思いです。

我々ボーイスカウト川島第一団ローバークルーも、全国の仲間へ負けじと、ローバリングに励んでいます。隊員は二四名で、地方の大学へ行っている者を除いて、ほとんどのローバーが指導者をしている、指導者型のクルーです。ローバーからシニアまでの指導者として毎月忙しく、ローバー独自の活動といえは、毎年三月に実施している「研究発表旅行」が恒例となっています。これは、一年間のしめくりとして、自由なテーマで個人研究をし、それを発表して質疑応答するというものです。一泊二日の旅行ですが、毎年この委員会が一番活気があり、いつも盛り上がりすぎるくらい盛り上がっています。ただ一つ気にかかることは、我がローバークルーの島田アドバイザーの懇親会

↑NJはまさに開催されたわけだけど「MAX通信」は発行できました？ 編集部に送られてきたいくつかのローバークルーの「コピー」参考資料として送ってあげようか。必要だったらください。他の団の諸君ももし欲しかったら送ってほしいよ。ただし、資料は投稿と引き換えたからね。ネタ考えとて。

三指 我がローバークルーは二年前に約一〇年ぶりに復活した隊です。現在指導者三名、スカウト二名で活動しています。そのうちスカウト六名は県外に出ており、僕自身も県外に出ています。

今年からこのようになったため、隊活動、運営に苦慮していましたが、県外に出ていてもお互いの連絡や意見交換が出来るよう今年から新聞を作ることにしました。名称は「MAX通信」。今、編集段階ですが、11NJが開催される頃までには発行したいと思っています。その他にもネットチャットや所属章を今年中に作

♪パリ・ダカル・ラリー♪

『なぜ、砂漠に挑むのか！』講演会

世田谷第二五副団委員長 古谷真一郎

世田谷地区内には、三大学の大学ローバー（東京農業大、駒沢大、国士館大）があります。昨今、ローバークルー活動の有りが問われている中、三大学ローバーは積極的に様々な活動に取り組んでいます。

その活動の中の一つとして、五月八日（日）「なぜ、砂漠に挑むのか！」と題し講演会を開催致しました。講演会の講師には、「パリ・ダカル・ラリー」でご活躍されている浅賀 敏則氏（無改造・ディーゼル部門 四勝）、菅原 義正氏（カミオン部門 準優勝）の両氏をお招きして二時間に渡り、貴重なお話をお聞きすることができました。

両氏よりパリ・ダカル・ラリーに参加するまでの経緯、ラリー中のエピソードや、砂漠の砂の実物・写真をおりませ

でのちよつとエッチなパフォマンズです。永遠のスカウトの島田アドバイザーは、スカウトティングに関してはとてもきびしい人ですが、お酒が入ると、ふだんは教えてもらえないような事まで教えてくれます。人間味のある、とてもすばらしいアドバイザーです（ほめすぎたかな？）

全国のローバーのみなさん、いろいろと悩みや問題も多くあると思いますが、とにかく建設的に行動して行くのではありませんか！ なかなか思うような活動は出来ませんが、自覚と責任を持ってスカウトティングを楽しもうではありませんか!! スカウトティングの未来に、弥栄！弥栄！弥栄！

ボーイスカウト川島第一団RS 阿部康裕



▶川島第一団RS隊の年間の活動の雰囲気かじり出せる手紙ありがとう。研究発表旅行といつか、ほんとに親睦会色が濃いいんじゃないの？ すげえ楽しそう。島田アドバイザーのパフォーマンス写真を見たいね。ともあれ活動を建設的に楽しんでるナイスな隊らしいな。また手紙ください。

成する予定にしています。

さて、我が団のローバー隊の活動がスタートして約二年が経ちましたが、この間の活動を垣間見ると、やはりまだ未熟なところがあります。全国のローバーのみなさんはどのような活動をしているのですか。自隊において、スカウトが県外に出ている隊もあるでしょう。ぜひこの機会に皆さんの意見を聞きたいと思えます。

まず、隊の年間プログラムについてですが、みなさんの隊ではどのようなプログラムを組んでいますか。

また、今年から我々の隊では新聞を作る事になりましたが、新聞を発行されている隊のみなさんは具体的にどのような記事載せていますか。

ちなみに我々の隊では、前者については、昨年从今年にかけては、ネットチャーフ・所属章の考案を中心に活動し、その他キャンプ・合宿などをしました。後者については、今回は第一回目なので県外に出たスカウトにその地域の様子、生活などについてのレポートを載せる予定にしています。

弥栄

六月号の浜松第二四団の意見についての回答

- 1 隊費は月五〇〇円から（今年から）
- 2 「スカウトティング」の購読率はスカウトでは約二七％、全体では約三三％
- 3 どこにでもあるわけではない（ちなみに僕の大学にはないが、隊内では大学ローバー経験者は二人いる）

ボーイスカウト岡山第四団ローバースカウト隊 間裕一

ながら楽しくお話していただきました。また、参加者からの質問では、「勝つたのは、車の性能がいいのか、腕がいいのか？」など両氏がうなづいてしまう場面もありました。

今後も三大学ローバーで様々な企画をたてて、地区内のローバー活動を盛り立てて行くことを期待しています。



先月は少ないスペースで失礼した。様々な全国のRS諸君の声が、決して「山ほど」ということはないながらも、地道に編集部に寄せられている。「原始火おこし」みたいにこの火を絶やさないようにそーっとフーッしながら根気よくやっていくつもりなので、諸君もなんとか手紙書いてくれよな、めんどくさいだろうけど。待つてるよん。

## 投稿募集

ローバー通信「誌上ローバームート」のコーナーでは、みなさんからの投稿を熱烈募集しています。

〒181 東京都三鷹市大沢4-11-10  
ボーイスカウト日本連盟 広報課  
ローバー通信係  
FAX 0422-32-0010

# 組織倍増顕彰

ボーイスカウト日本連盟では、平成2年度から組織倍増顕彰制度を定めています。一定の数値目標を達成した県連盟および地区を対象として、年次全国会議において顕彰されました。

昨年度で終了した加盟員倍増五か年計画は、小誌7月号で既報の通り残念ながら目標を実現することはできませんでした。

しかし、悲観的な状況だけが残っているのではけしてありません。組織が一丸となった取り組みによって、組織拡張の必要性が繰り返し論じられ、具体的な施策へ展開していくことによって、加盟員ひとりひとりの意識レベルの向上と結束力の強化という何事にもかえられない成果を得ることができたものと考えます。

冷静に数字の推移を見てみると、減少の傾向に歯止めがかかりつつあると捉えることもできます。もちろん楽観が許される状況でないことは周知の通りですが、5年間の努力が少しずつ数字に現われているとストリートに評価してもよいのではないのでしょうか。

## 組織倍増顕彰について

### 【目標】

1 次の目標を達成した県連盟を年次全国会議において顕彰し、その努力をたたえる。

▼(倍増計画初年度である)平成元年度加盟員数を基準として、一〇%以上加盟員の増加した県連盟。

▼平成元年度団数の七〇%以上のビバー隊を登録させた県連盟。ただし、一〇二団平均六〇名を上回ること

(平成二年度から実施)

2 平成四年度団数の七〇%以上のビバー隊を登録させた地区のうち、次の条件を満たした地区を日本連盟が顕彰し、その努力をたたえる。

▼当該地区の平成四年度末の団数が一〇二団以上であること。  
(平成五年度から実施)

## 平成六年度年次全国会議における顕彰

### ●県連盟の部

ビバー隊設置率七〇%以上

長野県連盟 (設置率 七二・八八%)

これまでに目標を達成し、顕彰を受けた県連盟は次の通りです。

登録年度	加盟員数増10%以上				ビバー隊設置率70%以上				
平成2年度									
平成3年度			長野		千葉				
平成4年度	山梨	福井	長野	奈良	千葉		愛知	奈良	宮崎
平成5年度	山梨		長野		千葉	長野	愛知	奈良	

太字が翌年次全国会議で顕彰を受けた県連盟

### ●地区の部 七六地区

ビバー隊設置率七〇%以上

県名	地区	4年度末団数	5年度末ビバー隊数	設置率(%)
宮城	仙台	18団	14隊	77.7
	東部	10	7	70.0
群馬	太田	19	14	73.6
	高崎	16	13	81.2
埼玉	川口	10	8	80.0
	上尾	10	8	80.0
	北足立	10	7	70.0
	東部東	12	12	100.0
	東部南	13	12	92.3
	奥武蔵	14	13	92.8
千葉	千葉	17	15	88.2
	船橋	21	18	85.7
	東葛	12	11	91.6
	北総	11	11	100.0
	松戸・鎌ヶ谷	12	12	100.0
神奈川	横浜	27	22	81.4
	横浜中央	19	14	73.6
	横浜南央	17	16	94.1
	横浜みなと	22	16	72.7



神奈川	横須賀	14団	11隊	78.5
	湘南	26	21	80.7
	県央	25	23	92.0
東京	弥生	20	17	85.0
	墨田	10	7	70.0
	目黒	12	9	75.0
	大田	17	12	70.5
	中野	11	8	72.7
	豊島	11	8	72.7
	板橋	13	12	92.3
	練馬	15	12	80.0
	大多摩	10	8	80.0
	八王子	15	12	80.0
	南武蔵	13	12	92.3
	町田	11	9	81.8
	北多摩	22	18	81.8
岐阜	岐阜中	10	9	90.0
静岡	清水	11	11	100.0
	静岡	17	12	70.5
	志太	12	11	91.6
	島田	16	14	87.5
	磐田	14	10	71.4
愛知	名古屋東	14	14	100.0
	名古屋西	17	16	94.1
	名古屋南	18	17	94.4
	名古屋千種	20	15	75.0
	名古屋北斗	12	11	91.6
	名古屋中	19	17	89.4
	名古屋緑	12	12	100.0
	尾張南	10	7	70.0
	尾張北	19	15	78.9
	尾張東	10	8	80.0
	尾張中	12	12	100.0
	知多北	14	14	100.0
	碧海	14	11	78.5
	豊橋	15	12	80.0
豊田	23	19	82.6	
滋賀	鈴鹿	10	7	70.0
京都	洛東	10	10	100.0
兵庫	尼崎	20	14	70.0
	神戸湊川	12	9	75.0
	神戸垂水	14	12	85.7
	東播	20	17	85.0
	姫路	11	9	81.8
奈良	奈良	15	12	80.0
大阪	三島	21	19	90.4
	淀川北	13	10	76.9
	城北	16	12	75.0
	北河内	16	13	81.2
	泉州東	14	14	100.0
愛媛	松山	19	15	78.9
福岡	小倉	11	11	100.0
	八幡・若松	17	12	70.5
	舞鶴	12	9	75.0
長崎	長崎	14	11	78.5
宮崎	中央	18	15	83.3
沖縄	南部	20	16	80.0



## 日本連盟情報

## 会議報告

## ●評議員会

五月二四日、東京・尚友会館で開催されました。出席者は、廣瀬文一理事他評議員二七名、参席者は、平山羊介監事、渡邊昭総長。

- (1) 平成五年度事業報告について  
荒尾事務局長から、平成五年度事業報告書および同別冊各種統計資料に基づき説明があり、協議の結果、これを了承しました。
- (2) 平成五年度収支決算について  
荒尾事務局長から、平成五年度収支決算報告書および同収支計算書総括表に基づく説明がありました。また、公認会計士の監査を受けていることおよび、平成六年度年次全国会議の承認を受けていることが報告されました。
- (3) 登録料の改正について  
荒尾事務局長から、現在の日本連盟財政状況に鑑み、財政基盤の確立とともに、健全財政に戻すことが緊急かつ重要な課題であり、平成六年度予算の策定においても、一部事業の縮小や思い切った経費の削減を行ったが、この措置はあくまでも緊急避難的

なものであり、財政の安定化を図る上から、登録料を改正せざるを得ない状況となった旨資料に基づき説明がありました。またこのことは、平成六年度年次全国会議において上程され、多数の賛同を得て承認されたことが併せて報告され、協議の結果、これを承認しました。

- (4) 理事・監事の選任について  
荒尾事務局長から、平成六年五月二一日をもって現在の理事・監事が任期満了となるため、寄付行為第二五条に基づき理事および、同第二九条に基づき監事の選任について資料に基づき説明があり、協議の結果、同資料の候補者を承認しました。

## ●理事会

五月二七日、東京・経団連会館で開催されました。出席者は、渡邊昭理事他八名、平山羊介監事。

- (1) 平成五年度事業報告について  
それぞれ説明があり、これを承認しました。
- (2) 平成五年度収支決算について  
それぞれ説明があり、これを承認しました。
- (3) ビーバースカウト九月入隊に伴う教育規定の一部改正について  
荒尾事務局長から、資料に基づき、ビーバースカウト九月入隊に伴う教育規定の一部改正についての

説明とともに、平成六年度年次全国会議において上程され、承認された旨報告がありました。

なお、同改正案のうち、カブスカウト部門への上進時期に関する第一九条一項は、他部門との整合性を勘案し、特に必要がないということで取り下げられたことが併せて説明され、協議の結果、施行日を平成六年五月一八日とすることとしてこれを承認しました。

- (4) 登録料の改正について  
上記の評議員会議題の(3)と同様事務局から説明があり、協議し、承認しました。
- (5) 評議員の選任について  
荒尾事務局長から、平成六年五月二一日をもって現在の評議員が任期満了となるため、寄付行為第二三条および同三四条に基づき評議員の選任について資料に基づき説明があり、協議の結果、同資料の候補者を承認しました。

また、それ以前の評議員の一部交替に伴う追認について次のとおり説明があり、これを承認しました。

全国銀行協会連合会会長

森川 敏雄氏（前・同会長） 奥田 正司氏

- (6) 理事長の交替について  
渡邊理事から、井深理事長は九年間にわたり理事長を務めたこと、また、現在病気療養中であることから辞任の申し出があった旨報告があり、これを受理することとなりました。

続いて、同理事から、寄付行為第二六条に基づき、理事長は理事会の互選によることから、後任には、

佐波正一理事(株式会社東芝・相談役、社団法人経済団体連合会・顧問)を推薦する旨提案があり、協議の結果、満場一致でこれを承認しました。

(7) 募金期間の延長について

荒尾事務局長から、財界募金のうち、自助努力分以外の募金期間について、当初計画では、平成六年三月三十一日までとなっているが、現在の経済情勢から五年間の延長をしたい旨説明があり、協議の結果これを承認し、平成一年三月三十一日まで延長することになりました。

## ●中央名誉会議

四月一日、東京・ポイイスカウト会館で開催されました。出席者は、鈴木了正総コミッシヨナー他一五名。平成六年度表彰の審議について協議されました。

## ●運営委員長会同

四月三〇日、東京・国立教育会館で開催されました。出席者は、廣瀬文二中央審議会議長他九名。五月中央審議会(全国会議前、および改選後)の議案について、二一世紀委員会の答申について、平成五年度収支決算について、登録料の改正について、スカウトの環境美化活動についてそれぞれ協議されました。

## 役員

### ●理事長の交替

井深 大氏より 佐波 正一氏

### ●評議員の一部交替

全国銀行協会連合会会長  
奥田 正司氏より 森川 敏雄氏

### ●県連盟選出中央審議会議員の交替

神奈川連盟  
木村 勇氏より 高橋 幸夫氏(理事長)  
京都連盟  
故栗栖 幸雄氏より 羽生田 寂裕氏(副理事長)

### ●各種委員会委員長および委員の委嘱

需品委員会  
委員長 吉田 俊仁氏(茨城)  
委員  
生田 亮俊氏(愛知) 井上 久雄氏(埼玉)  
花岡 史子氏(群馬) 皆川 昭彦氏(東京)  
若野 隆生氏(神奈川)  
環境委員会  
委員長 岩井 泰夫氏(中審)  
委員  
麻生 陽一氏(福岡) 市川 熙氏(山口)

上道 小太郎氏(大阪) 於保 信義氏(広島)  
河合 孝俊氏(中審) 島川 甲子三氏(愛知)  
平出 政一氏(長野) 水元 鋭二氏(東京)  
宮本 浩吉氏(埼玉) 矢島 巖氏(神奈川)

スカウトソング委員会委員の追加  
委員 生稲 芳江氏(東京)

室橋 幸三郎氏(東京)  
宗教委員会委員の追加  
委員 石神 明氏(岐阜)

## 集会・行事報告

### ●トレーニングチームディレクター会議

三月二六日、東京・ポイイスカウト会館で開催されました。出席者は、杉原正ディレクター他四名。平成五年度トレーニング研究集会について、日本連盟訓練要員チーム会同および作業チームについて、平成六年度ウッドバッジ実修所の開催と主要スタッフ会同について、トレーニングニュースNO.48の企画についてそれぞれ協議されました。

### ●日本連盟訓練要員チーム会同

三月二六日～二七日、東京・ポイイスカウト会館で開催されました。出席者は、杉原正ディレクター他四名、参加者は、訓練要員チーム一四県連盟三二名。研究テーマは、平成五年度日本連盟トレーニング

研究集会を振り返って、平成六年度連盟トレーナー研究集会についてでした。

## ●ボーイスカウト振興国会議員連盟役員会

四月八日、東京・衆議院第一議員会館で開催されました。出席者は、原田憲会長他。議事は、アジア太平洋地域スカウト国会議員連合設立についてでした。

## ●スカウトソング研修会

四月二十九日～五月一日、北海道札幌・北海道青少年の家で開催されました。出席者は、二県連盟二四名、スタッフは、山田昇委員他六名。

## 国際

### ●アジア太平洋地域スカウト委員会への出席

五月四日～六日、台湾・台北で開催されました。出席者は、竹宮帝次APRスカウト委員(副国際コミッショナー)。議事は、一九九六年シンガポール第一八回アジア太平洋地域スカウト会議について、二二世紀に向けた地域計画について、アジア太平洋地域運営連盟ワークショップ、貿易展示会についてでした。

### ●派遣員の募集

▼ モンゴル連盟支援 コンサルタント派遣

モンゴルスカウト連盟の要請に基づき、組織拡充のために同連盟の指導者の活動を助けるコンサルタントとして本連盟の指導者をモンゴルに派遣します。

名称 モンゴル連盟支援 コンサルタント派遣  
期間 平成六年九月二十六日(月)～

十一月三日(日) 七週間

派遣期間は最低三週間ですが、派遣員の都合により延長について調整します。

第一期 平成六年九月二十六日(月)～

一〇月二十六日(日) 三週間 一名

第二期 平成六年一〇月一日(月)～

一〇月三〇日(日) 三週間 一名

第三期 平成六年一〇月二十四日(月)～

十一月三日(日) 三週間 一名

場所 モンゴル国・ウランバートル 他諸都市  
人員 指導者三名(各期各一名)  
経費 個人負担各二〇万円

服装・備品・準備訓練などに要する経費、派遣期間中の小遣いは追加負担となります。

応募資格 指導者一満二〇歳以上の者で、研修所修了、日常会話程度以上の英語力がある者。

参加申込 所属隊・団・地区の推薦を受け、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込んでください。県連盟から日本連盟への申し込みは、平成六年八月三十一日までとなっています。

派遣員選考・内定 平成六年九月一〇日(土)頃

▼ 第一五回アジア太平洋(第一七回オーストラリア)ジャンボリー派遣

ホームステイを体験するとともに、第一五回アジア太平洋(第一七回オーストラリア)ジャンボリーに参加し、知識、技能を一層高め、参加外国スカウトとの親善交歓により国際理解と友情を深めます。

名称 第一五回アジア太平洋

(第一七回オーストラリア)ジャンボリー派遣

期間 平成六年二月三日(金)～

平成七年一月二日(木) 二二日間

場所 オーストラリア 西オーストラリア州 パース  
人員 スカウト三六名 指導者四名 計四〇名  
経費 個人負担四〇万円

服装・備品・準備訓練などに要する経費、派遣期間中の小遣いは追加負担となります。

応募資格 スカウト一中学二年生以上の一級以上のボーイスカウトおよびシニアスカウト。

指導者一満二〇歳以上の男子指導者で、研修所修了、日常会話程度以上の英語力がある者。

参加申込 所属隊・団・地区の推薦を受け、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込んでください。県連盟から日本連盟への申し込みは、平成六年九月二〇日までとなっています。

派遣員選考会 平成六年一〇月二日(日) 予定

## ▼ 第二回アジア太平洋（第六回ニュージーランド）ベンチャー派遣

ホームステイを体験するとともに、第二回アジア太平洋（第六回ニュージーランド）ベンチャーに参加し、知識、技能を二層高め、参加外国スカウトとの親善交歓により国際理解と友情を深めます。

名称 第二回アジア太平洋  
（第六回ニュージーランド）ベンチャー派遣  
期間 平成六年二月三日（金）～  
平成七年二月二日（木） 二二日間

場所 ニュージーランド 北島 ロトルア

人員 スカウト一八名 指導者一名 計二〇名  
経費 個人負担四〇万円

服装・備品・準備訓練などに要する経費、派遣期間中の小遣いは追加負担となります。

応募資格 スカウト一シニア章以上のシニアースカウト。

指導者一満二〇歳以上の者で、研修所修了、日常会話程度以上の英語力がある者。

参加申込 所属隊・団・地区の推薦を受け、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込んでください。県連盟から日本連盟への申し込みは、平成六年九月二〇日までとなっています。

派遣員選考会 平成六年一〇月二日（日）予定

派遣お問い合わせ 日本連盟国際課

## モンゴルのスカウト・指導者と文通してみませんか

モンゴル国は、ロシア・カザフスタン・中国に囲まれた、日本の四倍の国土を持つ草原の国。モンゴルでは、四年前からスカウト運動が首都ウランバートルを中心として始められ、現在では約二七〇〇名の男女スカウトと三〇〇〇名の指導者が活動を展開し、世界スカウト機構への正式加盟の準備を進めています。

日本連盟では、世界スカウト機構の要請を受けてモンゴルスカウト連盟の活動展開促進に協力しています。

第11回日本ジャンボリーには、二三名のスカウト・指導者がモンゴルから参加の予定です。



モンゴルのスカウト・指導者と文通してみませんか？ モンゴルでは、四年生からロシア語が必修外国語でしたが、民主化後は多くの学校で英語、ドイツ語、フランス語など選択できるようになっており、日本語の授業が行われているところもあります。

文通希望者は葉書等にて次の要領で日本連盟にご連絡ください。順次モンゴルスカウト連盟に紹介しますが、文通相手が見つかるまでに相応な日数がかかることをご了承ください。

モンゴルとの郵便事情ですが、葉書・封書の場合日本からモンゴルへは約二週間、モンゴルから日本へは約三週間かかるようです。

### 送付先

〒181 東京都三鷹市大沢四一―一〇〇

ボーイスカウト日本連盟事務局

国際課 モンゴル文通係

### 記入事項

氏名（ふりがな／ローマ字）・性別・年齢・住所（ふりがな）・電話番号・ボーイスカウト所属・役務・学校／学年または職業・趣味・文通する言語・文通についての希望

## 指導者養成

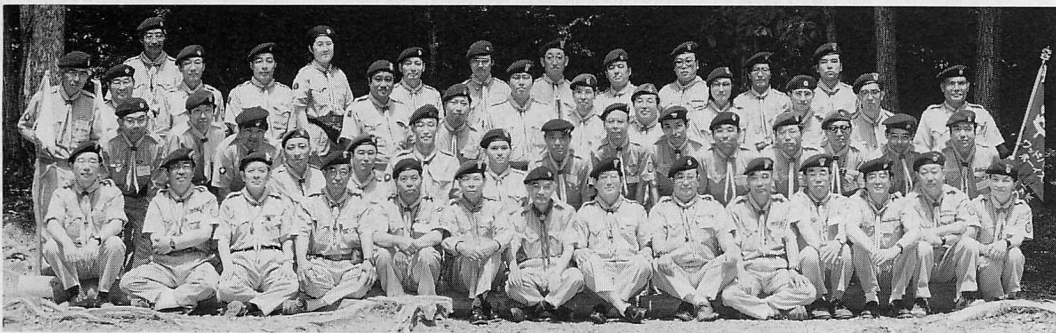
●ビーバースカウト課程第七期  
 期間 五月三日(火)～五月八日(日)  
 場所 京都・(財)青少年野外活動センター  
 所長 森岡征年(他所員一〇名)  
 入所者 九県連盟二七名(内、女子二五名)



●カフスカウト課程第九期  
 期間 五月三日(火)～五月八日(日)  
 場所 山中野営場  
 所長 星野信二(他所員二名)  
 入所者 一三県連盟三名(内、女子四名)



●ボイスカウト課程第二二期  
 期間 四月三〇日(土)～五月五日(木)  
 場所 静岡・浜松地区太田山野営場  
 所長 貝出有三郎(他所員九名)  
 入所者 五県連盟三四名(内、女子一名)



●ボイスカウト課程第二二期  
 期間 五月三日(火)～五月八日(日)  
 場所 山中野営場  
 所長 武井重利(他所員一〇名)  
 入所者 一六県連盟三九名





## 新 着 図 書

### 焚火の時間

国際焚火学会編 コスモヒルズ発行 平成6年 1,800円

人類の文明は火をおこしたことから始まった。

焚火は、人間の本性をひきだすというが、素直にさせるといったような、なにか不思議な力があるような気がする等々、今まで焚火を楽しんできた人たちの焚火に対する思いを語っている。



### 大人になるための心得 21世紀に向かう人づくり

森田 勇造 著 サイマル出版会発行 平成4年 1,700円

現代の青少年教育には「大人になるための教育」が欠けているという著者は、野外活動をさせることが大人になるための教育に役立つことを強調している。



### インタープリテーション入門 自然解説技術ハンドブック

キャサリン・レニエ 他著/日本環境教育フォーラム監訳 小学館発行 平成6年 1,600円

「インタープリテーション」という言葉は、私たちにとってなじみのない言葉である。一般的には「通訳」のことをいうが、ここでは自然と人間のあいだの通訳、すなわち自然の発するメッセージをわかりやすく人々に伝え、自然とのふれあいを通じて喜びや感動をわかちあおうとする「解説活動」のことを指している。



### ホリスティック教育 いのちのつながりを求めて

ジョン・P・ミラー 著/吉田 敦彦 他訳 春秋社発行 平成6年 2,987円

ホリスティックとは「全体」「つながり」「バランス」といった意味をもち、「すべてのものはつながりあっている」というのがホリスティックな考え方であり、ホリスティック教育というとき、著者は<かかわり>に焦点を当てた教育であると定義している。この本の中でいろいろなレベルにおいて、この<かかわり>やくつながり>をあきらかにし、また他の教育のあり方と対比しながら、ホリスティック教育のあり方を解明する方法も取り入れている。



### 次の方々から資料をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

稲山 種子氏 (愛知)	「名古屋第29団ビーバースカウト隊 3年間のあゆみ 大きな大きな輪になあれ」	平成6年
三輪谷 訖氏 (石川)	「隊長資料」 「草鞋の紐」 「スカウト歌集」 「行脚の杖」	平成5年
田中 幸男 氏 (東京)	「The Pack Committee」 「Den Leader Coach」 「Cub Camps and Pack Holidays」 「米軍サバイバルマニュアル」	
ガールスカウト群馬県第4団アマチュア無線クラブ	「設立4周年記念誌 ラジオスカウティングJL1ZDLの活動」	平成6年
東京・文京第5団	「第2回ジョイントキャンプ活動報告書」 「ジョイント集会報告書」	平成6年 平成5年
長野・飯田第1団	「明日のために 結団30周年記念誌」	平成6年
静岡・静岡第7団	「創刊45周年記念誌」	平成6年
奈良・橿原第8団	「年輪 発団20周年記念誌」	平成6年
大阪・高槻第4団	「あしあと 創立45周年記念誌」	平成6年
沖縄・那覇第5団	「30年のあゆみ」	平成5年
[故 石田 允之氏 (元国際委員) のご遺族より貴重な資料をご寄贈いただきました]		

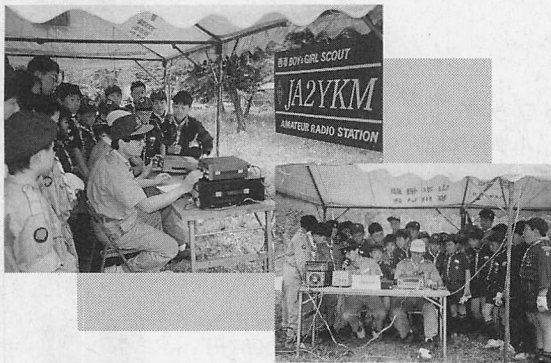
(以上、5月、6月受け入れ分)

●この新着図書情報は、皆様からの情報の提供や書店での情報、書評を参考にして入手しているものです。内容についてのお問い合わせは資料センターへ。入手希望の場合は、直接書店へ申し込んでください。

# 知らせてください あなたのスカウティング

私たち愛知連盟西春第一団は、平成六年五月三日から五日まで二泊三日で岐阜県各務原市おがせ、において団行事としてカブ・ボーイ合同のキャンプを実施しました。カブはマーキ―、ボーイは開拓から始まりサイト作り。キャンプにつきもの雨も降り、楽しいキャンプが実施できました。

今回のキャンプでは、五月四日から五日に実施された、オン・エア・ミーティングに参加し、「CQジャンボリー、CQジャンボリーこちらら、JA2YKM/2」と7MHz、21MHzの10m/Hダイポールアンテナ



ナを張り運用しボーイスカウト各局とQSOしました。

短波帯の面白さをスカウトに紹介するとともに電波の特性、アンテナの原理等を説明しスカウト達は、興味深く耳を傾けていました。

ボーイスカウト東京連盟障害児スカウティング特別委員会（羽生和敏委員長）では、去る四月二十七日（日）、五月八日（日）の両日、渋谷乗泉寺において、恒例の第五回手話講習会を開きました。講師には東京都手話通訳協会から、指導上手なベテラン、大槻先生を招き、当日は一二〇名からの受講者で会場には熱気が溢れていました。後半にはスカウトソング「光の路」が手話でできるように、充実した二日間でした。閉講式では、手話章の申請書が羽生委員長から手渡され、スカウト達は大満足です。



カブのリーダーと一緒に来た三歳の女の子も両手をかざして、一所懸命はげんでいるほほえましい一コマもありました。また今回はガールスカウトの参加もあり、ボーイスカウトとともに終始和やかな講習会でした。

## キャンプでオン・エア・ミーティングに参加

愛知連盟西春第一団

B S 副長 加藤義明

## 第五回手話講習会

大入満員

東京連盟障害児スカウティング特別委員会

副委員長 青木勝彦

# ① + ② = ③

TADAS BOOKSは

- ①熱意ある〈活動〉を
  - ②アイデアいっぱいの企画で
  - ③役立つ〈記録〉に仕上げます。
- その費用対効果はご期待以上です。ぜひお試しください。

例えば……

## 25周年記念誌

「おめでとう」だけで終わらせたくない団再発見の文集&アルバム。

## 夏季隊キャンプ報告書

感動・自信・汗・涙……スカウト一人ひとりがドラマチックに綴るひと夏の体験集。

## 富士スカウト個人プロジェクト

継続は力なり。こつこつと積み重ねてきたスカウトの青春記。大いに誇れる書。

## ローバー紀行

新世界、新時代を切り拓く若人の熱血パワー。〈遍歴〉のしめくりに著しておきたい。

## 派遣団リポート

やがて薄れる記憶より、確かな記録で紹介する世界兄弟愛運動の素晴らしさ。

## 団年次報告

新規加入者への説明資料も兼用できるビジュアル版「成長の過程」。

富士スカウト4兄弟の店  
**紘** (ただす) 書房  
 PLAN・PRINT・PUBLISH  
 〒606 京都市左京区田中大堰町129番地  
 TEL.075-781-8925 FAX.075-711-5430



## '94アマチュア無線フェスティバル (ハムフェア'94)

開催趣旨

アマチュア無線の健全な発展と技術の向上を図るため、これらに関する展示や催事を行い、一般の方々にアマチュア無線について広く紹介するとともに、愛好者の情報交換・友好を深めます。今回は『いろんなモードで楽しさ倍増』をテーマに掲げ、アマチュア無線の楽しさを様々な角度から取り上げ、一人でも多くの来場者の方にアマチュア無線の楽しみと、正しい運用について理解していただくよう催しを行います。

主催

社団法人 日本アマチュア無線連盟

後援

郵政省、文部省、東京都、日本放送協会、読売新聞社、日本アマチュア

無線振興協会、日本無線協会、日本アマチュア無線機器工業会  
協賛

電波新聞社、電波タイムス社、〇〇

ham radio、モービルハム、子供の科学、エレクトロニクスライフ

会場

東京国際貿易センター新館

(東京都中央区晴海五・三・五三)

会期

平成六年八月一九日(金)

～二二日(日)

時間

午前10時～午後6時

(ただし、最終日の二一日(日)

は午後五時に閉館いたします)

入場整理費

小・中学生無料

大人二二〇〇円(税込)

問い合わせ先

'94アマチュア無線フェスティバル

実行委員会

(☎〇三・五三九五・三二一九)

日本ボーイスカウトアマチュア無線

クラブも出展します。ぜひいらしてください。

世界ボランティア会議

— 第一三回 I A V E 世界会議

開催趣旨

社会が抱える様々な課題を確認し、

解決に向けて相互の経験や努力に学び

び合い、交流を通して、自発的に活動

する市民のグローバルなネットワーク

を築き、二一世紀に向けて地球

市民として、日本のボランティア活動

の新たな潮流を見いだしていこう

というものです。

主催

I A V E (International Association

for Volunteer)、I A V E 日本、社団

法人 日本青年奉仕協会 (J Y V A)、

社会福祉法人大阪ボランティア協会

一部共催

東京都(基調パネルおよび課題別

分科会の一部)

会場

国立オリンピック記念青少年総合セ

ンター (N Y C)、京王プラザホテル、

東京都庁会議場、大成建設本社 他

開催期日

平成六年一〇月三〇日(日)

十一月三日(木)

問い合わせ先

I A V E 日本 / 一九九四

世界ボランティア会議事務局

〒151 東京都渋谷区代々木神園町三・一

国立オリンピック記念青少年

総合センター (N Y C) 内

T E L 〇三・三四六七・四七八一

F A X 〇三・三四六七・五五九二

隊指導者のための

「スカウトの

## 信仰への導き」

日本連盟宗教委員会

— 5 —



山野や道に生えている美しい花を咲かせる草木は、それ自身の力だけでは生きてはいません。周囲の水や空気、光等々があつて生きています。すなわち、目に見える地上は地上で空気や光などの恵を受け、目に見えない地下は地下

で土の栄養や水などの恵を受けているのです。私たちが人間にも同様なことが言えます。つまり、お互いはこの世で一人では生きてはいなく、周囲の人々、また大自然に生かされ、さらに目に見えない神の世界から生きる御力を

戴いて生きているのです。私たちは、この世の中のもの全ては生かされ、生きる存在であることを理解しましょう。 大社第一団 カブ隊隊長 熊野高裕

# 「スカウト」誌団宛送付休止のお知らせ

「スカウト」誌の団宛送付が10月号から6か月間休止となります。

(財)ボーイスカウト日本連盟平成六年度予算には、健全財政を確立するため、事業の一部縮小、諸経費の節減などの措置が盛り込まれております。これらの一環として、まことに残念ではありますが、月刊誌「スカウト」の団宛送付を本年10月号より半年間休止することとなりました。ご了承くださいるようお願い申し上げます。

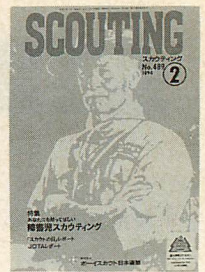
「スカウト」購読分、「スカウティング」につきましては、今までどおりお送り申し上げます。



<'94-4月号>  
環境問題への取り組みを考える  
「世界の趨勢と我々のとるべき道」——今、考え始めねばならぬとき。



<'94-3月号>  
日本家族白書  
「子どもたちをめぐる家族の現状とは」——国際家族年の'94年。改めて振り返る必要があるこのテーマ。



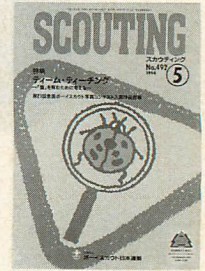
<'94-2月号>  
あなたにも知ってほしい障害児スカウティング  
スカウティングの醍醐味、それは誰もが持っている自分自身の可能性を見つぐこと。



<'94-7月号>  
平成6年度年次全国会議  
平成5年度を振り返り、新たな組織拡大計画へ



<'94-6月号>  
ボランティア活動の点数評価を考える  
学校や企業でボランティア活動を評価しようという動きが目まぐるしくされている。推進派、慎重派それぞれの考えを検討する。



<'94-5月号>  
チーム・ティーチング  
学校におけるチーム・ティーチングの実践と成功例を見ながら、ボーイスカウトにおける指導のあり方を振り返る。

●スカウティング誌は再生紙を使っています。貴重な森林資源を守り、自然の恵みに感謝して、今後も緑豊かなスカウティングの教場が維持できるように願っています。

フアクシミリでの投稿も受け付けています。  
FAX番号0422(32)0010

〒181東京都三鷹市大沢4-11-10  
ボーイスカウト日本連盟広報課宛

お寄せいただいた原稿は趣旨を変えずに手直しさせていただく場合があります。また、掲載できない場合もありますが、原稿・写真はお返しいたしませんのでご了承ください。住所、氏名、加盟登録番号、年齢、電話番号、所属、差し支えなければ自己PR（あなた自身の得意な技術や能力）を明記のうえ日本連盟広報課へ。

○投稿歓迎

スカウティング誌では次のとおり皆様の原稿を募集しています。

「読者からのたより」……率直な意見交換の場です。スカウト活動に取り組んで感じられたこと、ご意見、本誌の感想などを八〇〇字程度でお寄せください。

「ローバー通信」……ローバー活動の予告・報告などの情報交換や、ローバー活動に対する意見・提言・感想などの意見交換の場です。他団のローバーへの呼びかけに大いに利用してください。なお、投稿と共に写真もお貸しください。

「活動紹介」……スカウティングにおけるあらゆる場面を紹介したいと考えています。写真を添付のうえ、一二〇〇字程度で。

「その他」……スカウティングや野外活動に関する研究論文（連載も可）もお寄せください。

「スカウト」「スカウティング」は、全国各団に各一冊お送りしています。団の通信連絡先にお送りしておりますので、住所の誤り、変更がある場合は日連組織部までご連絡下さい。なお、団配布の購読料は、登録料に含まれています。

※本誌のバックナンバーを希望されるときは、はがきで日連広報課までご連絡下さい。

払込通知票の誤りについて

本紙巻末に綴じ込まれております払込通知票につきまして、裏面（○穴が左側になる面）左の枠内に記入されているスカウト、スカウティングそれぞれの一年間の予約購読料が消費税計算方法の違いにより誤っています。

正しい金額は以下のとおりです。

スカウト 一年予約 一九四四円  
スカウティング 一年予約 三〇六八円

なお、同通知票表面の「購読料計算について」の箇所では正しい消費税計算方法となっておりますので、こちらに従っていただきますよう、お願いいたします。

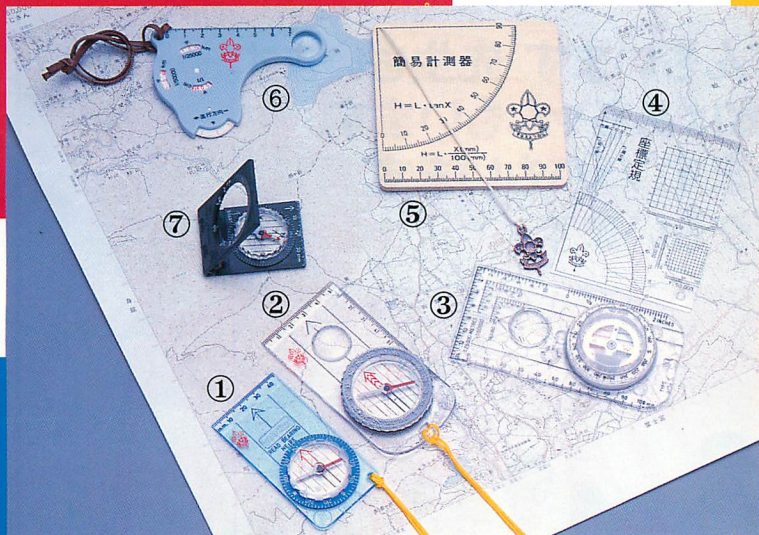
Scout '94年-8月号  
スカウト No. 407

■ルックワイド  
狙い定め放て！  
アーチェリー章

■スカウトもりもりコミック⑤⑥  
山のファーストエイド  
まんが・荘司としお

# アウトドアはおまかせ

部品部  
NEWS



## ① シルバコンパス No.8

品番 82456 ¥1,900

目盛は5単位。初めてコンパスを扱う人に利用されています。マップケース入り。(普及型)

## ② シルバコンパス No.3

品番 82428 ¥2,900

目盛は2単位で、より精密に読図作業ができます。マップケース入り。(一般用)

## ③ シルバコンパス 54R

品番 82478 ¥8,000

ミラープリズム使用により、のぞくだけで0.5°まで簡単に測定可能。

## ④ 座標定規

品番 82462 ¥100

地形図(1:25,000、1:50,000)の座標読み、磁北線の記入。分度器も使用すれば、読図作業に重宝。スカウト手帳にはさんで携帯できます。サイズ:11.1×8.3cm。

## ⑤ 簡易計測器

品番 82484 ¥400

裏面の取扱い説明を参考に、計測章、測量章の取得に役立ちます。サイズ:10.5×10.7cmシナベニア。

## ⑥ マップメーター

品番 75053 ¥500

地図上の1cmは1/25,000と1/50,000の地図ではそれぞれ何kmになるかが一目わかります。スカウト必携の入門用マップメーター。ルーペ、分度器(目盛を直線にしたところがミン)付。

## ⑦ シルバコンパス No.23

品番 82412 ¥3,700

目盛は5単位。胸にピンで止められるので、両手をあけて行動できます。(オリエンテーリング向け)

NEW

## ■ ミニマグライト

品番 89509 ¥3,200

アルミ合金製で、コンパクトなライト。ハロゲン球使用のため、明るく焦点調節も可能。布製ケース付(ベルト装着用)。底の部分に予備球付。(USA製)重量:60g(電池付) サイズ:14.5cm 使用電池:単3×2個 色:ブラック



NEW

## ■ 刺しゅうソックス

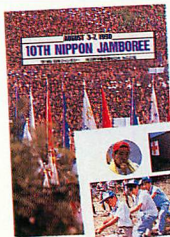
品番 26476 ¥600

フリーサイズ(24~28cm)



# INFORMATION

## 11NJ記念アルバム 予約を開始いたしました



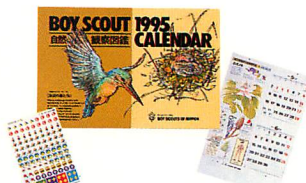
ジャンボリーの記念、貴重な資料として、ぜひ、お求めください。  
完成予定 '94年10月下旬

品番 37100 ¥1,800

※写真は10NJ記念アルバム

## 1995.ボーイスカウトカレンダー

今回のテーマは「水辺の鳥たち」



B4版カラー 品番 68495 1部 ¥600

8月1日より予約受付をいたします。  
発売予定 '94年11月中旬

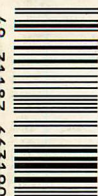
SCOUTING 495

スカウトインツ

昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
平成6年8月1日発行 毎月11回日発行

発行所 **ホーンスカウト日本連盟**  
〒181 東京都三鷹市大塚4-11-10  
電話 0422(31)5161(代)

定価 ¥190 (送料 ¥60)  
振替 東京1-8  
取引銀行 三和銀行



さわやかになる。ひととき。

お医者さんもあります。先生もあります。  
100歳のおばあちゃんもあります。  
ママもあります。パパもあります。  
小さなボクもあります。



1日に地球上で5億600万杯以上のコカ・コーラが飲まれています。

いつでも、どこでも、だれでもが。

安心できるから、おいしいから、さわやかだから。

コカ・コーラが生まれて108年、日本で、世界で、こんなにも愛され親しまれています。

私たち、コカ・コーラ ボトラーズは、

地域社会の一員として、また、市民のひとりとして、

みなさまのお役に立ちたいと願っています。

(市民 コカ・コーラとして。)

コカ・コーラボトラーズ

Coca-Colaとコカ・コーラ、Cokeは、The Coca-Cola Companyの登録商標です。  
コカ・コーラは、世界195か国以上の国々で愛され親しまれています。